

浜松地域の経済動向

2021年1月を中心に

新型コロナウイルス感染再拡大が飲食、宿泊業に悪影響を与えている。

1月の自動車生産台数は前月に生産を増やしたこともあり減少したが、輸出を中心に堅調に推移している。

浜松管内有効求人倍率は前月より上昇しており、県有効求人倍率を0.05ポイント上回っている。

雇用情勢は一部持ち直し傾向が見られるが、有効求人倍率は前年同月比では、

0.4ポイントマイナスと依然厳しい状況は続いている。

飲食、観光業は新型コロナウイルス感染再拡大による首都圏での緊急事態宣言、

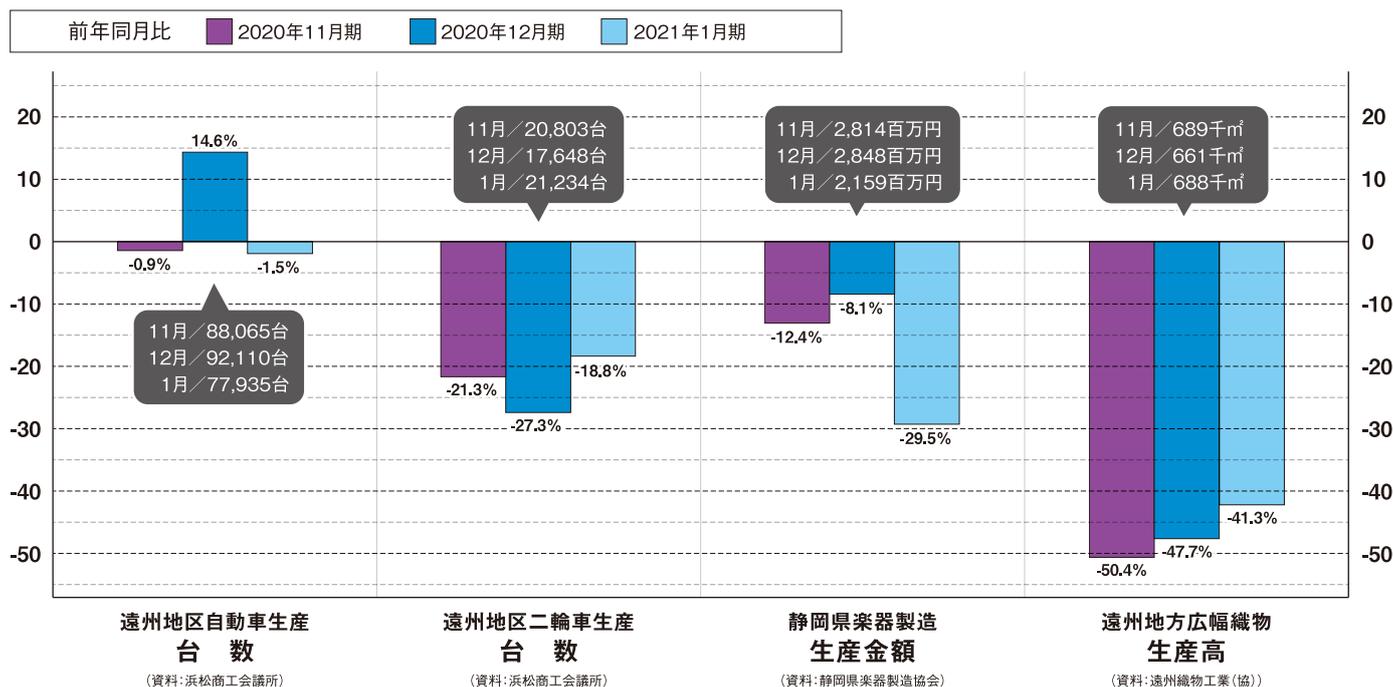
GoToキャンペーン一時停止の影響を受け低調に推移した。

2021.

4

2021年4月発行
発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年1月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比1.5%減の7.7万台となった。軽自動車は増加したが、普通四輪車、小型四輪車は前年同月を下回った。国内向けは前年同月比5.6%減、輸出は前年同月13.2%増であった。新型コロナウイルスの感染再拡大、世界的な半導体不足、2020年12月に生産を増やしたこともあり、生産台数は前月より1.4万台減少した。輸出は8カ月連続前年同月比プラスとなっている。

二輪車



2021年1月における二輪車生産台数は前年同月比18.8%減の2.1万台となった。国内向けは前年同月比77.7%減、輸出も前年同月比8.8%減となった。排気量別では50cc以下前年比63.0%減、51cc～125cc以下11.2%増、126cc～250cc以下30.9%減、251cc以上14.5%減であった。輸出向けは11カ月連続で前年同月を下回った。小型二輪車は5カ月連続で前年同月比プラスとなっている。国内向けは振るわず、2カ月連続で前年同月比60%以上減となった。

楽器



2021年1月における生産金額は前年同月比29.5%減の21億円となった。分野別に1月の生産台数をみると、ピアノ0.2%減、電子・電気ピアノ2.7%減、電子オルガン37.2%減、管楽器35.8%減となっている。電子・電気ピアノは5カ月振りに前年同月比マイナスに転じた。電子オルガンは18カ月連続、管楽器は10カ月連続で対前年同月比マイナスとなった。巣ごもり期間の長期化でピアノ需要が高まってきている。

繊維



2021年1月の生産量は前年同月比41.3%減の688千㎡となった。前年比マイナスとなるのは22カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。例年、1月から3月は生産が減少し始める時期であるが、1月の生産高は12月より27千㎡増加した。新型コロナが早期に収束し、景気回復による広幅織物の需要増加を期待したい。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年1月におけるタクシー乗車人員は前年同月比48.4%減の21.4万人となった。前年水準を下回るのは29カ月連続。宅配デリバリー業務は定着しつつあるが、感染再拡大により、通院、ビジネス、催事客は少なく、乗務員・営業車の需給調整は継続されている。

観光

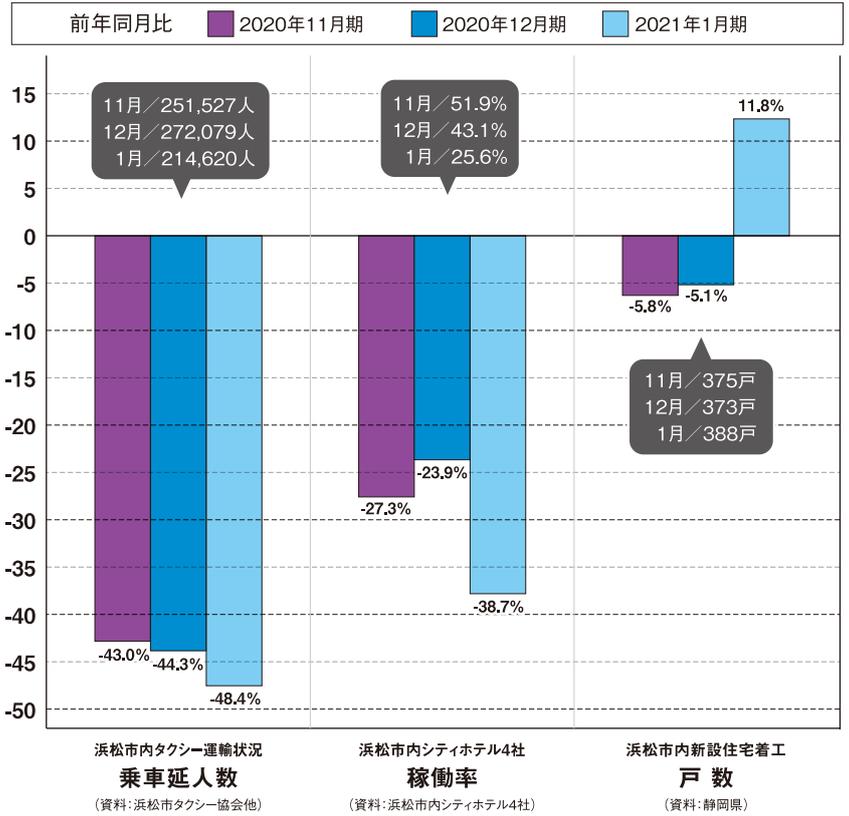


観光業では、GoToトラベルキャンペーンの一時停止、首都圏を中心に発令された緊急事態宣言の影響を受け、予約客のキャンセルが相次いだ。年始、ビジネス客はほとんどなく、1月のホテル稼働率は25.6%と前年稼働率を38.7ポイント下回った。

住宅着工



2021年1月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比11.8%増の388戸となった。持家は前年同月比15戸減少、貸家は53戸増加、分譲住宅は2戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,665戸であった。浜松市は貸家、分譲住宅は増加したが、持家が減少した。特に貸家の増加戸数が大きかった。着工総数は前月を15戸上回った。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年1月の有効求人倍率は前年同月比0.40ポイント下降の1.03となった。前月比では0.02ポイント上昇した。全国(1.10)との比較では0.07ポイント下回り、静岡県(0.98)を0.05ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は1,697人増加した。月間有効求人数は前月比で138人の増加となった。2カ月連続で1倍を上回った。新型コロナ感染再拡大で、有効求人倍率の大幅な悪化が懸念されたが、雇用情勢に大きな影響はなかった。

倒産企業



2021年1月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は1.5億円となった。倒産企業数は前年同月より5件減少、前月より4件減少した。負債総額は前月比3.6億円の減少となった。静岡県全体の倒産件数は21件、前年同月5.0%増であった。

ガソリン価格

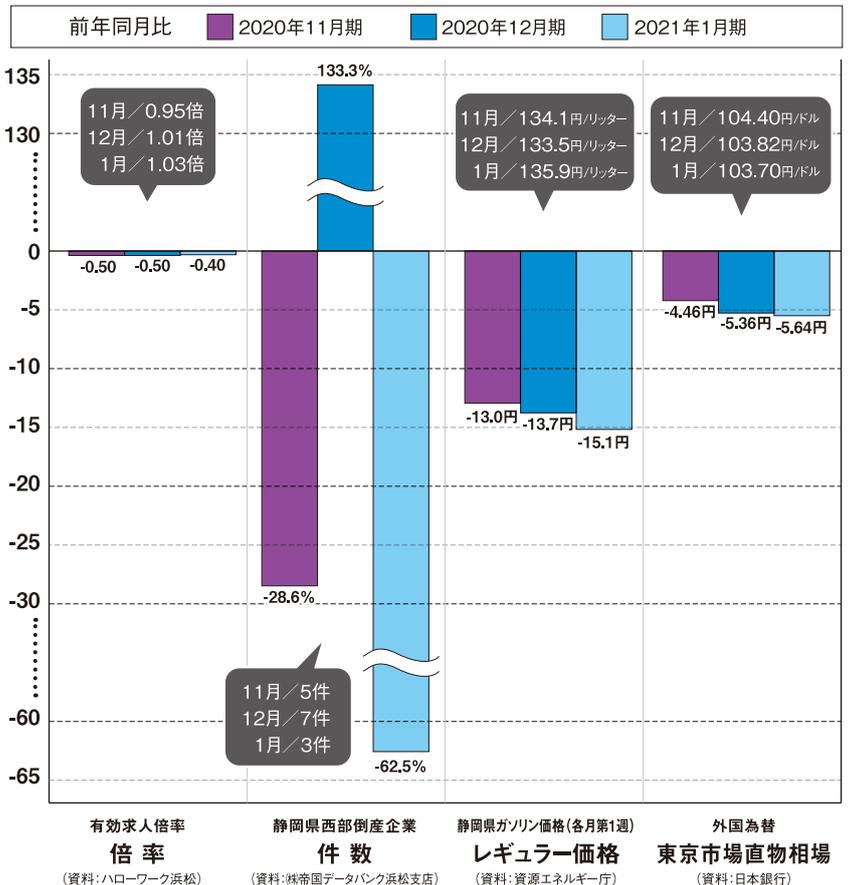


2021年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり135.9円となった。前月比2.4円上昇、前年同月と比較すると15.1円下降した。新型コロナ感染長期化でガソリン需要は減少傾向となっている。今後、コロナワクチンの普及で経済活動が通常に戻り、ガソリン需要が回復すれば、価格に影響を与える可能性がある。

外国為替



2021年1月の外国為替は1ドル103.70円、前年同月と比較すると5.64円の円高となっている。現状、米国長期金利、米国雇用統計の影響を受けやすい状態となっており、不安定な値動きが懸念される。



浜松地域の経済動向

2021年2月を中心に

浜松地域の景気は、先行き不透明な状態となっている。

2月の自動車生産台数は、半導体供給不足の影響もあり前月より減少した。

二輪の生産台数、楽器の生産額は前月比増加しており、製造業全般では業況の回復が見られた。

運輸・観光業は新型コロナ感染再拡大、浜松市内クラスター発生の影響を受けて低調に推移した。

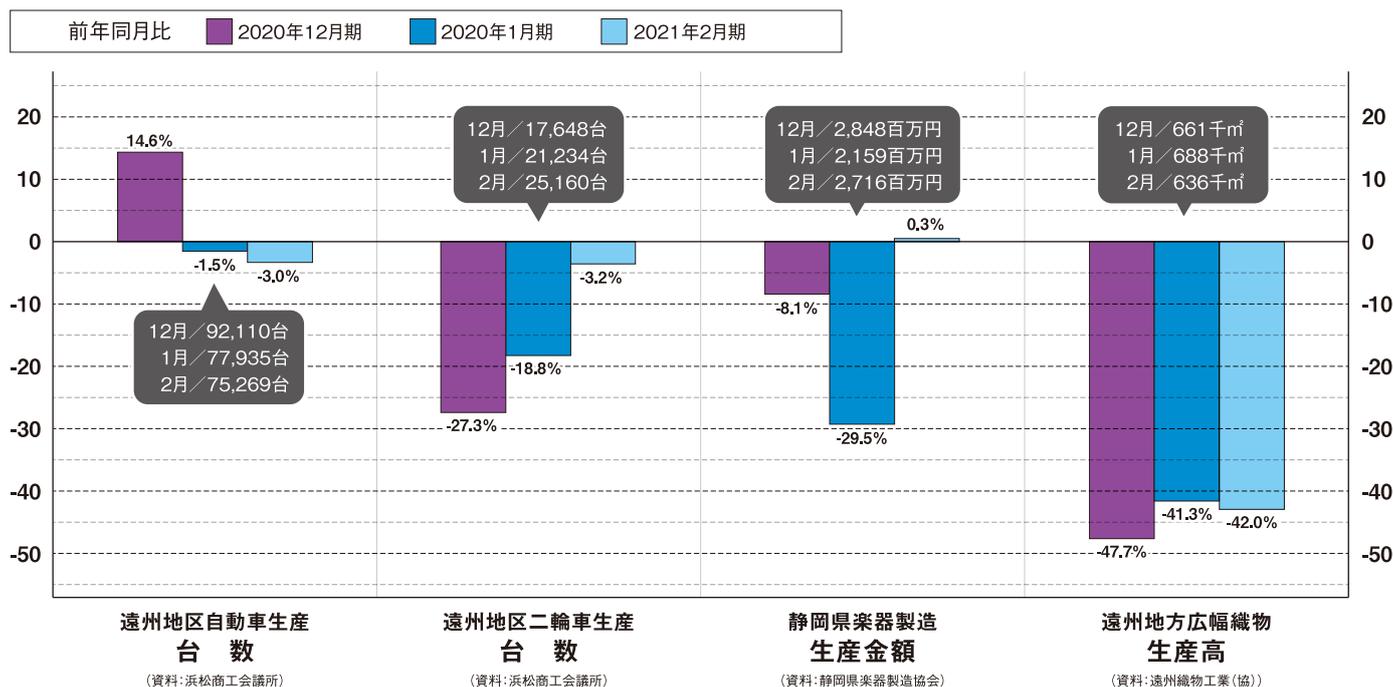
浜松管内有効求人倍率は前月より0.02ポイント上昇した。

有効求人数も増加しており、雇用情勢は持ち直し傾向が見られる。

住宅着工件数は、金利水準が低利で推移していることもあり前月より増加した。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年2月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比3.0%減の7.5万台となった。軽自動車は増加したが、小型四輪車、普通四輪車は前年同月を下回った。国内向けは前年同月比5.8%減、輸出は前年同月比6.7%増であった。前月との比較では生産台数は0.2万台減少した。輸出は9カ月連続前年同月比プラスと堅調。生産台数減少には、車載用半導体不足、地震発生による部品の供給遅延も影響している。

二輪車



2021年2月における二輪車生産台数は前年同月比3.2%減の2.5万台となった。国内向けは前年同月比49.1%減、輸出は前年同月比4.0%増となった。排気量別では50cc以下前年比22.8%減、51cc~125cc以下88.4%増、126cc~250cc以下10.6%減、251cc以上6.3%減であった。輸出は前月まで、11カ月連続で前年同月を下回っていたが、欧米先進国で需要が回復しプラスに転じた。国内向けは振るわず、3カ月連続で前年同月比マイナスとなった。

楽器



2021年2月における生産金額は前年同月比0.3%増の27.1億円となった。分野別に2月の生産台数を見ると、ピアノ13.3%増、電子・電気ピアノ2.1%減、電子オルガン10.0%減、管楽器20.8%減となっている。電子オルガンは19カ月連続、管楽器は11カ月連続で対前年同月比マイナスとなった。菓ごもり需要で日本および欧米でのピアノ人気が高まり2月はプラスに転じた。管楽器の需要回復は鈍いが、新型コロナワクチン接種が本格化する年後半での回復が期待されている。

繊維



2021年2月の生産量は前年同月比42.0%減の636千㎡となった。前年比マイナスとなるのは23カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。新型コロナ感染拡大により、アパレル企業の業績が悪化してきており、遠州地域はアパレル向けの生地を生産する工場も多くあることから影響を受けている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年2月におけるタクシー乗車人員は前年同月比44.0%減の21.2万人となった。前年水準を下回るのは30カ月連続。宅配デリバリーは比較的順調であったが、隣県の緊急事態宣言と浜松市内のクラスター発生の影響を受け、ビジネス、通院、催事での乗車数は低調に推移した。乗務員・営業車を減らした需給調整で対応している。

観光

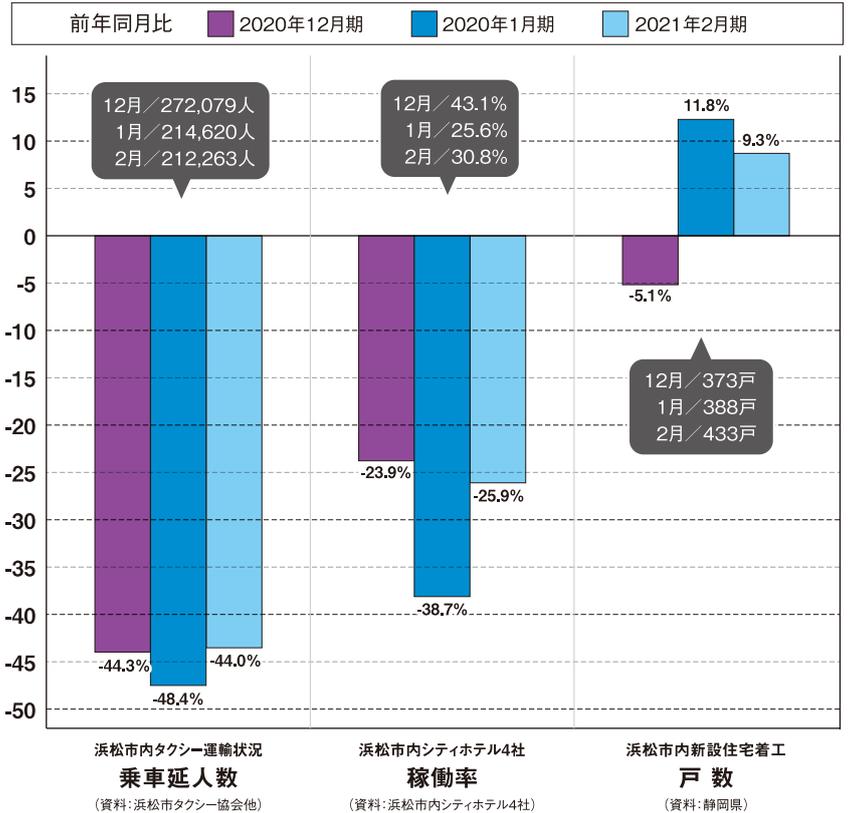


観光業では、2月の浜松市内ホテルの稼働率は30.8%。前年同月を25.9ポイント下回った。首都圏の緊急事態宣言、GoToトラベルの停止の影響を受け、観光客、ビジネス客とも前年より減少している。依然として厳しい状態が続いているが、各種スポーツ、音楽イベントの再開もあり、2月稼働率は5.2ポイント前月を上回る結果となった。

住宅着工



2021年2月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比9.3%増の433戸となった。持家は前年同月比25戸増加、貸家は55戸減少、分譲住宅は70戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,625戸であった。住宅着工総数は前月より45戸増加した。着工件数増加の要因には、金利水準が低利で推移していること、各種補助金など良好な住宅取得環境となっていることが背景にある。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年2月の有効求人倍率は前年同月比0.33ポイント下降の1.05となった。前月比では0.02ポイント上昇した。全国(1.09)との比較では0.04ポイント下回り、静岡県(1.00)を0.05ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は1,532人増加した。新型コロナウイルス感染再拡大が雇用にも悪影響を与える懸念はあるが、2月の浜松管内月間有効求職者数は前月比で382人の増加となり、有効求人倍率は3カ月連続で1倍を上回った。

倒産企業



2021年2月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は4件、負債総額は18.8億円となった。倒産企業数は前年同月より1件増加、前月からは1件増加した。大型倒産発生により、負債総額は前月比17.3億円の増加となった。静岡県全体の倒産件数は12件、前年同月比55.1%増であった。新型コロナウイルス感染拡大長期化で、今後の倒産企業数増加が懸念される。

ガソリン価格

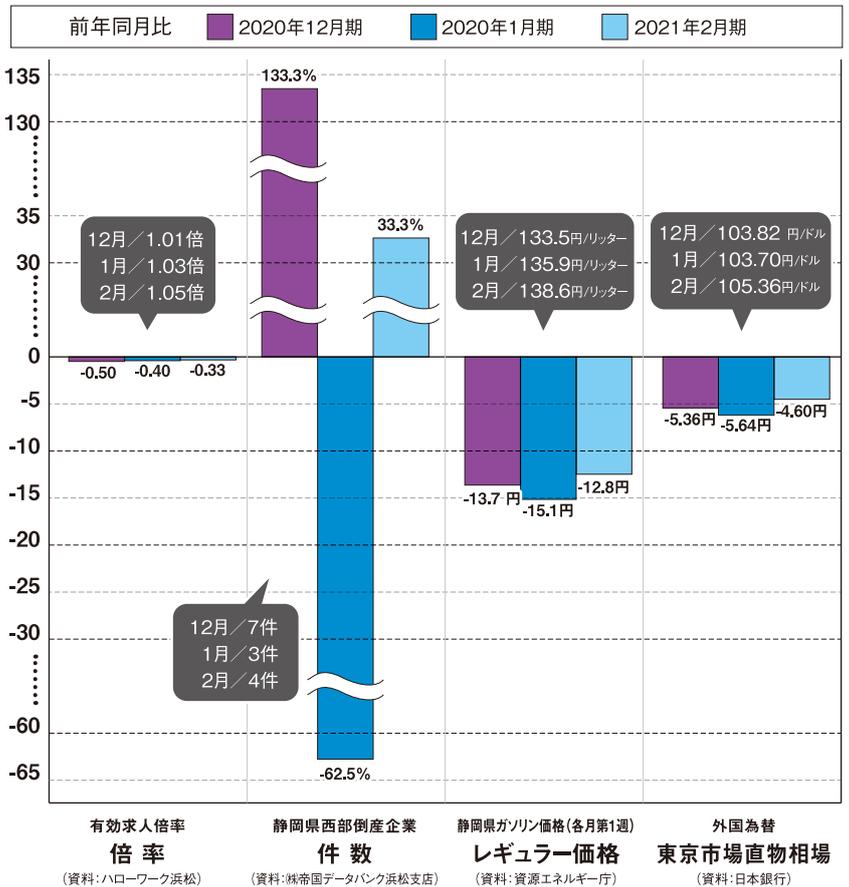


2021年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり138.6円となった。前月比2.7円上昇、前年同月と比較すると12.8円下降した。新型コロナウイルス感染長期化でガソリン需要は減少傾向となっていたが、緊急事態宣言解除後は国内の移動が増え需要は回復してきている。ガソリン価格は、円安が続いていることもあり値上がり傾向となっている。

外国為替



2021年2月の外国為替は1ドル105.36円、前年同月と比較すると4.60円の円高、前月との比較では1.66円の円安となった。2月は米国の大型経済対策を足掛かりに長期金利が上昇し、円安・ドル高の流れとなった。米国の経済対策、長期金利の動向に影響を受けやすい状態となっている。



2021.
1月～3月期
中小企業景気動向調査
結果報告
2021年5月発行

自動車部品は回復も、 飲食等は厳しく二極化

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、数値的には3四半期連続で回復。
ただし、飲食・宿泊・レジャー等低迷が続く業種も多く、景況感は二極化している。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI(Diffusion Index)による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全 体				うち小規模事業者			
	調査数	業 況			調査数	業 況		
		前 期	今 期	見 通 し		前 期	今 期	見 通 し
全 体	628				258			
二輪車部品製造	44				18			
自動車部品製造	77				17			
機械部品製造	60				35			
楽器部品製造	21				13			
繊維製造	23				19			
卸売業	75				30			
小売業	61				24			
建設業	68				9			
不動産業	45				31			
飲食・宿泊・レジャー等	19				「2021年1月～3月期中小企業景気動向調査」より 浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 親会社が増産体制になったことで、当社への受注も増加している。(自動車部品製造)
- 店舗の休業や外出自粛による販売減に加え、展示会中止で新たな受注の機会も失われている。(繊維製造)
- 新車販売では、各メーカーの在庫が少なく、発注から納車まで半年近くかかる車種もある。(自動車販売)
- 首都圏の緊急事態宣言により、消費者の自粛ムードが再燃し、1月以降の客足が減少した。(飲食)



浜松地域の経済動向

2021年3月を中心に

観光業は低調に推移。

製造業は業況回復するも小幅改善にとどまっている。

浜松地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、入学、入社などに伴う春の季節需要もあり徐々に持ち直してきている。

自動車・二輪車生産台数は前年同月を上回ったものの、楽器、遠州地方広幅織物は前年同月を下回った。

観光業については、3月初旬に首都圏1都3県で緊急事態宣言が延長された影響で低調に推移した。

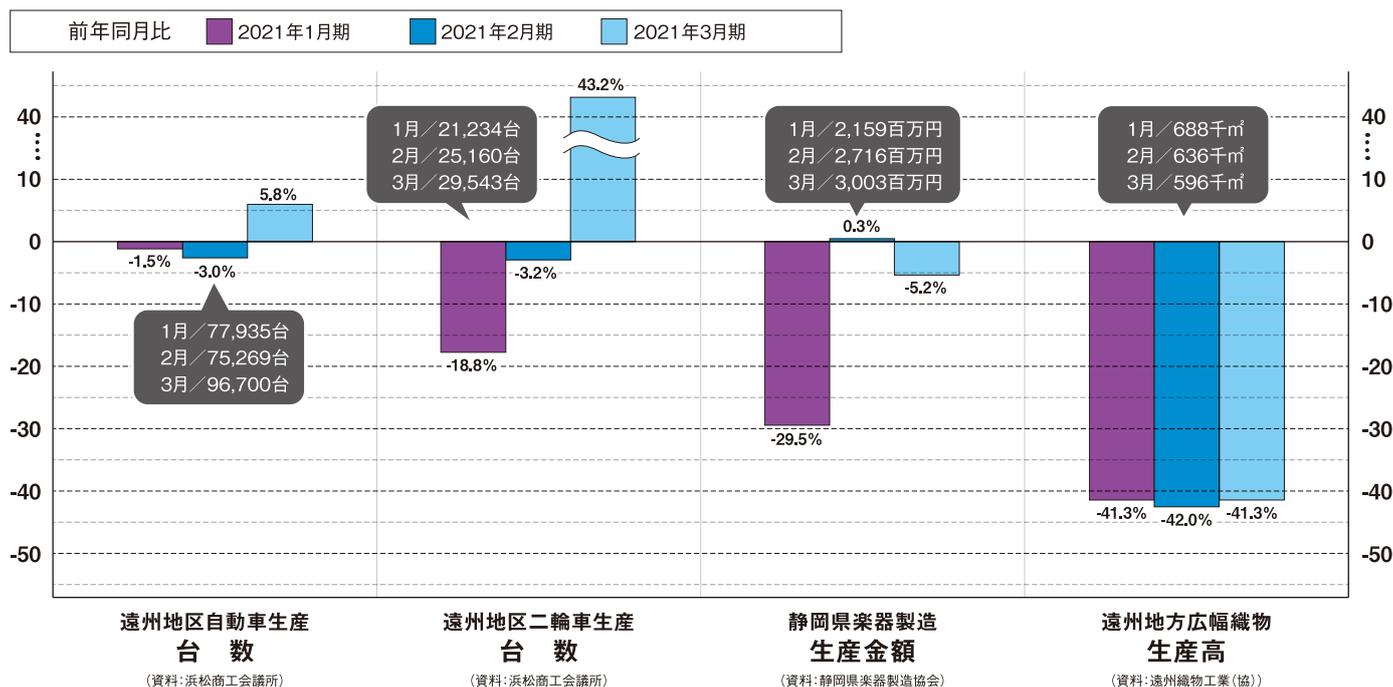
雇用情勢は依然厳しい状態が続いており、浜松管内有効求人倍率は前月より0.01ポイント低下した。

2021.

6月

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年3月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比5.8%増の9.6万台となった。小型四輪車、普通四輪車は前年同月を下回ったが、軽自動車は10%以上の増加であった。国内向けは前年同月比1.1%増加、輸出は、海外の景気回復を受け26.0%の大幅な増加となった。前月との比較では生産台数は2.1万台増加した。輸出は10カ月連続前年同月比プラス。3月に発生した車載用半導体製造工場の火災により、自動車部品の供給が遅延しており生産に影響が出始めている。

二輪車



2021年3月における二輪車生産台数は前年同月比43.2%増の2.9万台となった。国内向けは前年同月比43.0%減、輸出は前年同月比69.2%増となった。排気量別では50cc以下前年比31.7%増、51cc～125cc以下27.2%増、126cc～250cc以下23.7%減、251cc以上59.9%増であった。輸出は2カ月連続で前年同月を上回った。国内向けは振るわず4カ月連続で前年同月比マイナスとなった。

楽器



2021年3月における生産金額は前年同月比5.2%減の30.0億円となった。分野別に3月の生産台数をみると、ピアノ17.6%増、電子・電気ピアノ25.9%増、電子オルガン26.2%減、管楽器32.8%減となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で外出する機会が減り、新たに楽器を始める人、再開した人が増加している。手頃な値段で本格的なピアノ演奏が楽しめる電子ピアノの人気が高まっている。

繊維



2021年3月の生産量は前年同月比41.3%減の596千㎡となった。前年比マイナスとなるのは24カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。新型コロナウイルス感染拡大により、アパレル企業の業績低迷が続いており、産地内の織布工場の多くは受注確保も難しい状況となってきている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年3月におけるタクシー乗車人員は前年同月比13.7%減の26.3万人となった。前年水準を下回るのは31カ月連続。例年3月は歓送迎会などで需要が多い月であるが低調に推移した。ビジネス、通院、催事での乗車数も振るわなかった。繁華街の人出は若者を中心に増加してきているが乗車数増には結びついていない。乗務員・営業車を減らした需給調整で対応している。浜松市の宅配業務支援も3月末で終了となるため、コロナワクチン接種の送迎需要に期待している。

観光

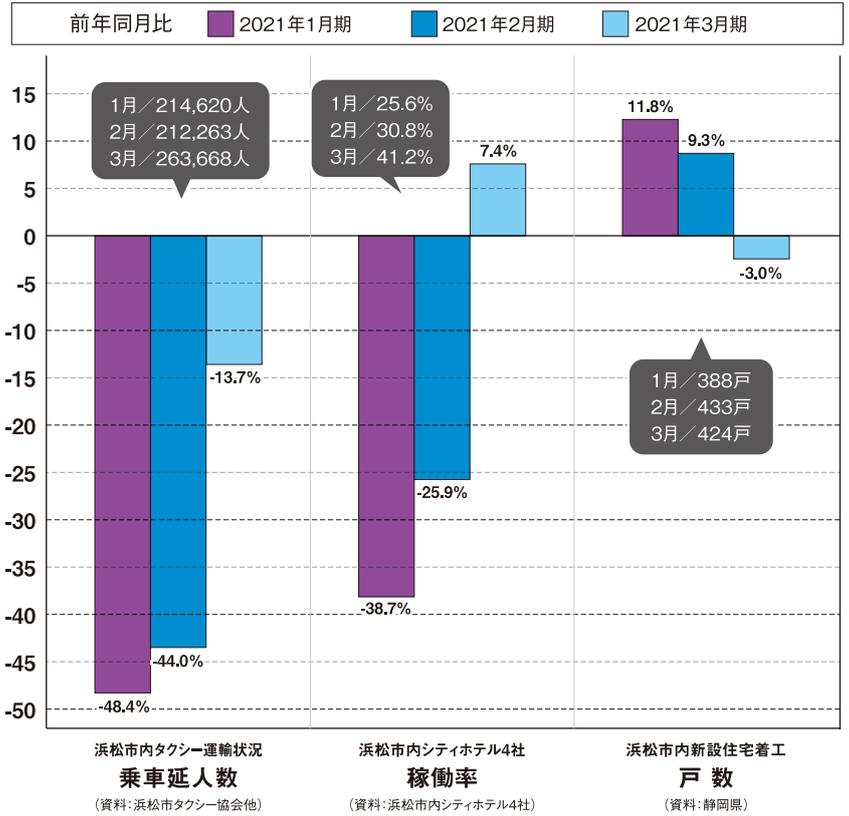


観光業では、3月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月を7.4ポイント改善したが、41.2%の厳しい稼働率であった。GoToトラベルキャンペーンの一時停止と外出自粛により、団体、個人とも利用者が伸び悩んだ。3月初旬に首都圏1都3県で緊急事態宣言が延長された影響もあり、観光関連は低調に推移した。

住宅着工



2021年3月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比3.0%減の424戸となった。持家は前年同月比67戸減少、貸家は70戸増加、分譲住宅は15戸減少であった。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を24戸上回る1,648戸であった。浜松市の新設住宅着工総数は前月より9戸減少した。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年3月の有効求人倍率は前年同月比0.27ポイント減の1.04となった。前月比では0.01ポイント減少した。全国(1.10)との比較では0.06ポイント下回り、静岡県(1.01)を0.03ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は1,635人増加したが、月間有効求人人数は1,546人減少した。全国、静岡県の有効求人倍率は、前月より0.01ポイント改善されているが、浜松管内は0.01ポイント悪化した。

倒産企業



2021年3月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は6件、負債総額は5億円となった。倒産企業数は前年同月より3件、前月からは2件増加した。静岡県全体の倒産件数は20件、前年同月17.6%増であった。新型コロナウイルス感染拡大長期化で倒産企業数は増加傾向となっている。

ガソリン価格

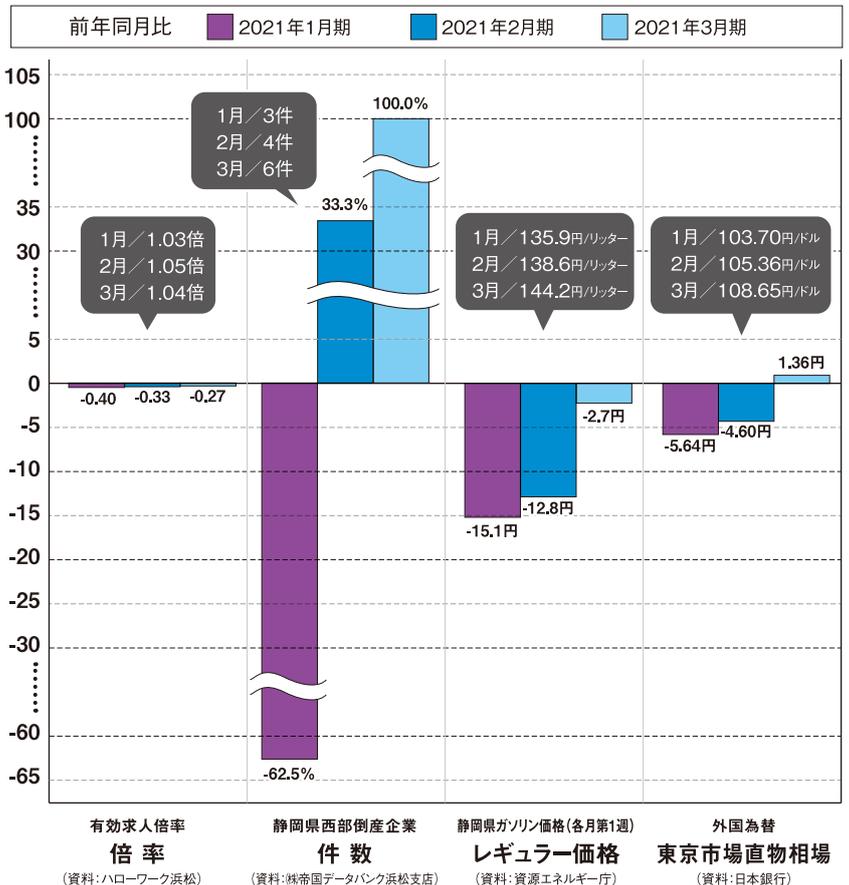


2021年3月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり144.2円となった。前月比5.8円上昇、前年同月と比較すると2.7円下降した。新型コロナウイルス感染拡大でガソリン需要は減少し、ガソリン価格は低下傾向となっていたが、米国の景気回復期待と世界各国でのワクチン接種開始により、需要は増加してきており、ガソリン価格は上昇傾向にある。

外国為替



2021年3月の外国為替は1ドル108.65円、前年同月と比較すると1.36円の円安、前月との比較では3.29円の円安となった。3月は米国の大規模景気刺激策、新型コロナウイルスワクチン接種の拡大により、今後米国景気が回復すると観測から、長期金利が上昇し、ドル高・円安傾向となった。



浜松地域の経済動向

2021年4月を中心に

一部に厳しい状況があるものの、持ち直してきている。

浜松地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部に厳しい状況があるが、製造業を中心に持ち直してきている。

自動車生産台数は前年同月を上回り、二輪車、楽器も堅調に推移した。

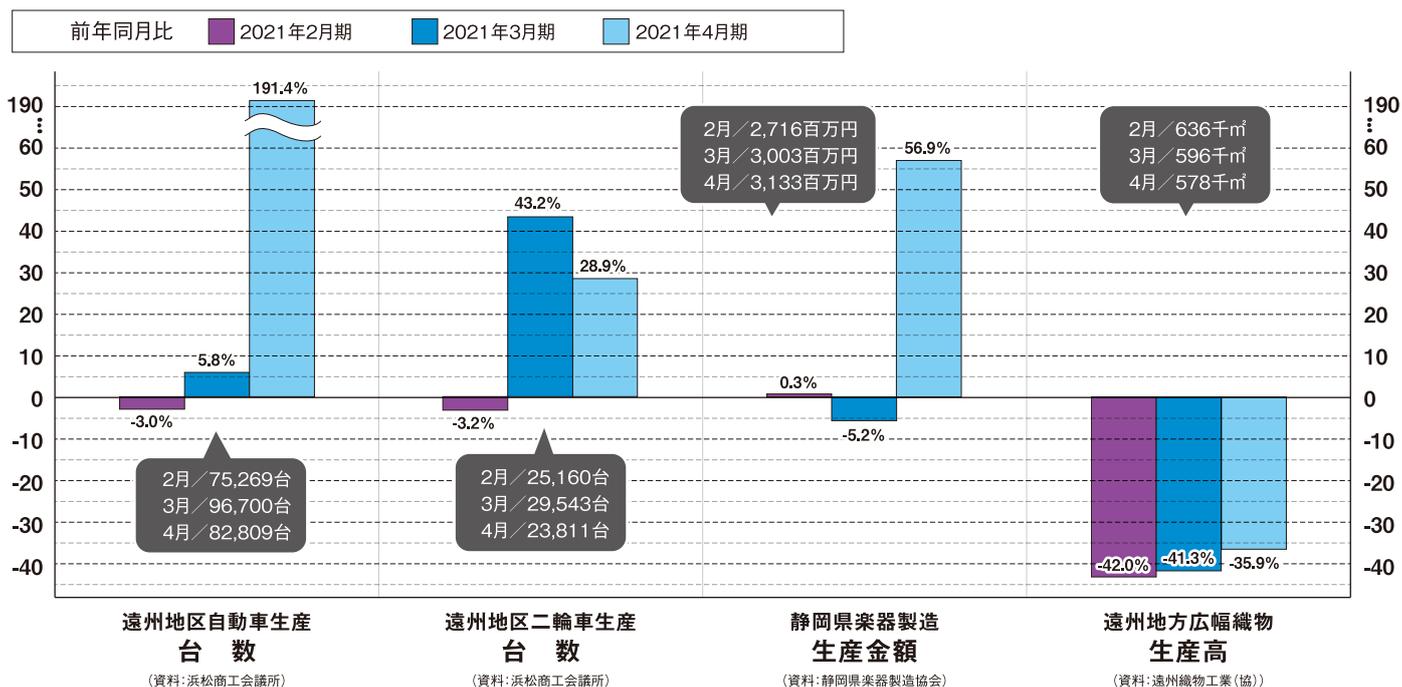
タクシー運輸状況、市内ホテル稼働率は大都市圏の緊急事態宣言発令に伴う

外出自粛要請の影響もあり回復が遅れている。

浜松管内有効求人倍率は0.96であり、前年同月より0.14ポイント、前月より0.08ポイント悪化し、全国1.09、静岡県1.01を下回った。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年4月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比191.4%増の8.2万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車すべてで増加した。国内向けは前年同月比168.9%増、輸出は332.1%増となった。前年同月比が大幅に伸びたのは、前年4月が新型コロナで大幅に減少していたため、前月との比較では1.3万台減少した。輸出は11カ月連続前年同月比プラスとなった。世界的な半導体不足が続いており、今後の自動車生産への影響が懸念される。

二輪車



2021年4月における二輪車生産台数は前年が新型コロナの影響で生産が落ち込んでいたため、前年同月比28.9%増の2.3万台となった。前月比では5,732台減少。国内向けは前年同月比39.0%減、輸出は前年同月比53.8%増となった。排気量別では50cc以下前年比61.5%増、51cc～125cc以下9.4%増、126cc～250cc以下48.9%減、251cc以上50.4%増であった。輸出は3カ月連続で前年同月を上回ったが、国内向けは5カ月連続で前年同月比マイナスとなった。

楽器



2021年4月における生産金額は前年同月比56.9%増の31.3億円となった。分野別に4月の生産台数をみると、ピアノ63.5%増、電子・電気ピアノ10.4%増、電子オルガン72.6%増、管楽器12.8%増となっている。電子オルガンは20カ月連続で前年同月比マイナスであったが4月はプラスに転じた。

繊維



2021年4月の生産高は前年同月比35.9%減の578千㎡となった。前年比マイナスとなるのは25カ月連続。衣料品需要が減退していることに加え、大都市圏を中心とした緊急事態宣言の発令により、百貨店などのアパレル商品売場が減少したことが大きく影響した。当産地はアパレル向けの生地が主流であるため、一層の厳しい状況が懸念される。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年4月におけるタクシー乗車人員は前年同月比61.8%増の24.9万人となった。新型コロナ以前の前々年との比較では20.8万人減少。3月の補助金終了後宅配業務は激減し、病院の送迎、出張での利用も復調の兆しが見えない。各社引き続き乗務員・営業車を減らし対応している。

観光

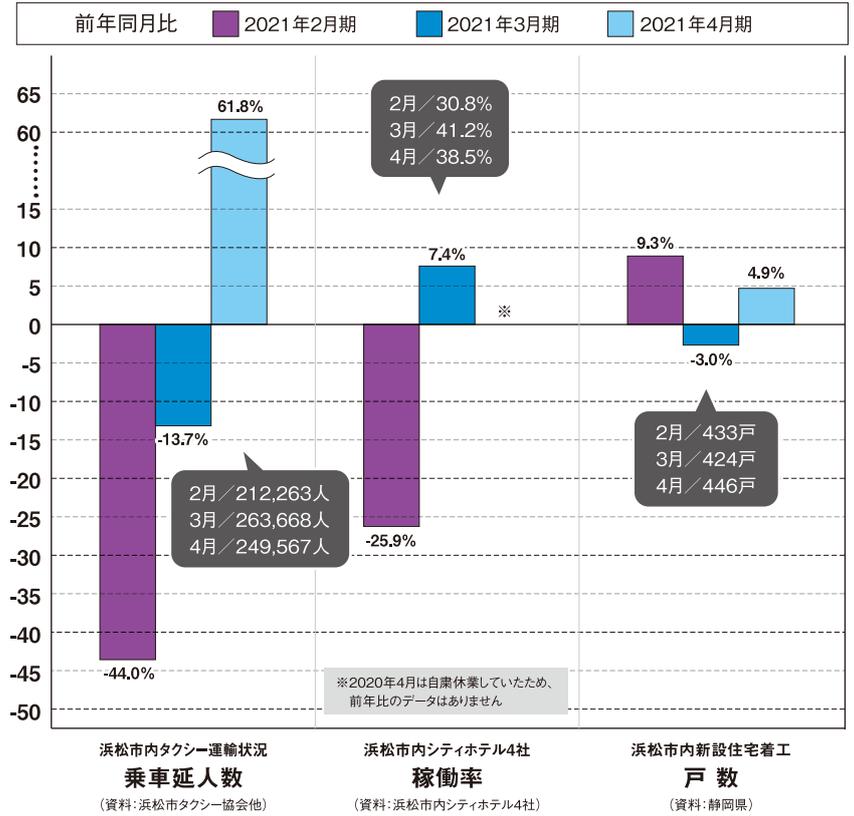


観光業では、4月の浜松市内ホテルの稼働率は、38.5%、前月より2.7ポイント悪化した。前年同月は新型コロナ感染症のため自粛休業となっていた。GoToトラベルキャンペーンの一時停止、緊急事態宣言再発令の影響により、ビジネス、個人とも厳しい利用状態であった。特に、団体での利用客が減っており、稼働率低下に影響を与えた。

住宅着工



2021年4月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比4.9%増の446戸となった。持家は前年同月比46戸増加、貸家は49戸減少、分譲住宅は25戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を157戸上回る1,931戸であった。浜松市の新設住宅着工総数は前月より22戸増加した。静岡市との比較では8戸下回った。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年4月の有効求人倍率は前年同月より0.14ポイント悪化し0.96倍となった。前月比では0.08ポイント悪化した。全国(1.09)との比較では0.13ポイント、静岡県(1.01)との比較では0.05ポイント下回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は1,514人増加したが、月間有効求人数は310人減少した。前月との比較で、全国は0.01ポイント悪化し、静岡県は同率であった。浜松管内は0.08ポイント悪化した。4月の浜松管内雇用情勢は、全国、静岡県より悪化が顕著であった。

倒産企業



2021年4月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は8件、負債総額は7.3億円となった。倒産企業数は前年同月より1件減少、前月からは2件増加した。静岡県全体の倒産件数は23件、前年同月と同数であった。「実質無利子・無担保融資」など各種支援策もあり倒産企業数の大幅増加とはなっていないが、西部地区でも徐々に倒産件数は増えてきている。

ガソリン価格

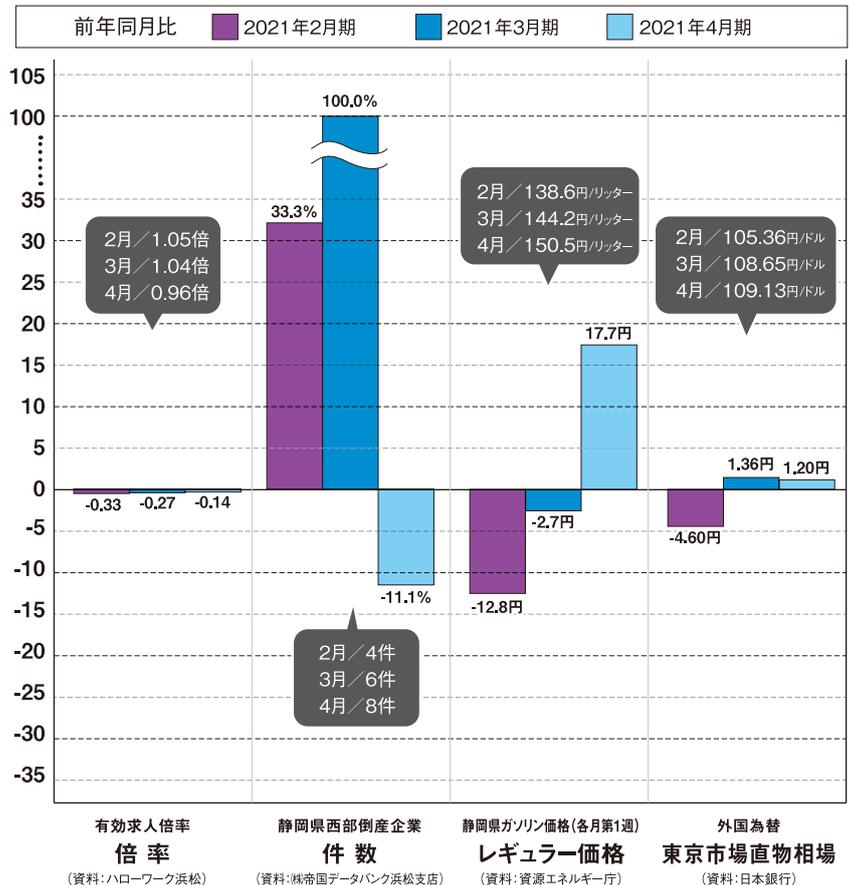


2021年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり150.5円となった。前月比6.3円上昇、前年同月と比較すると17.7円上昇した。新型コロナワクチン接種など感染症拡大防止対策が進み、今後のガソリン需要の増加が見込めることや産油国の減産継続などにより価格は上昇傾向となっている。

外国為替



2021年4月の外国為替は1ドル109.13円、前年同月と比較すると1.20円の円安、前月との比較では0.48円の円安となった。円/ドル相場は4カ月連続で前月より円安となっている。



浜松地域の経済動向

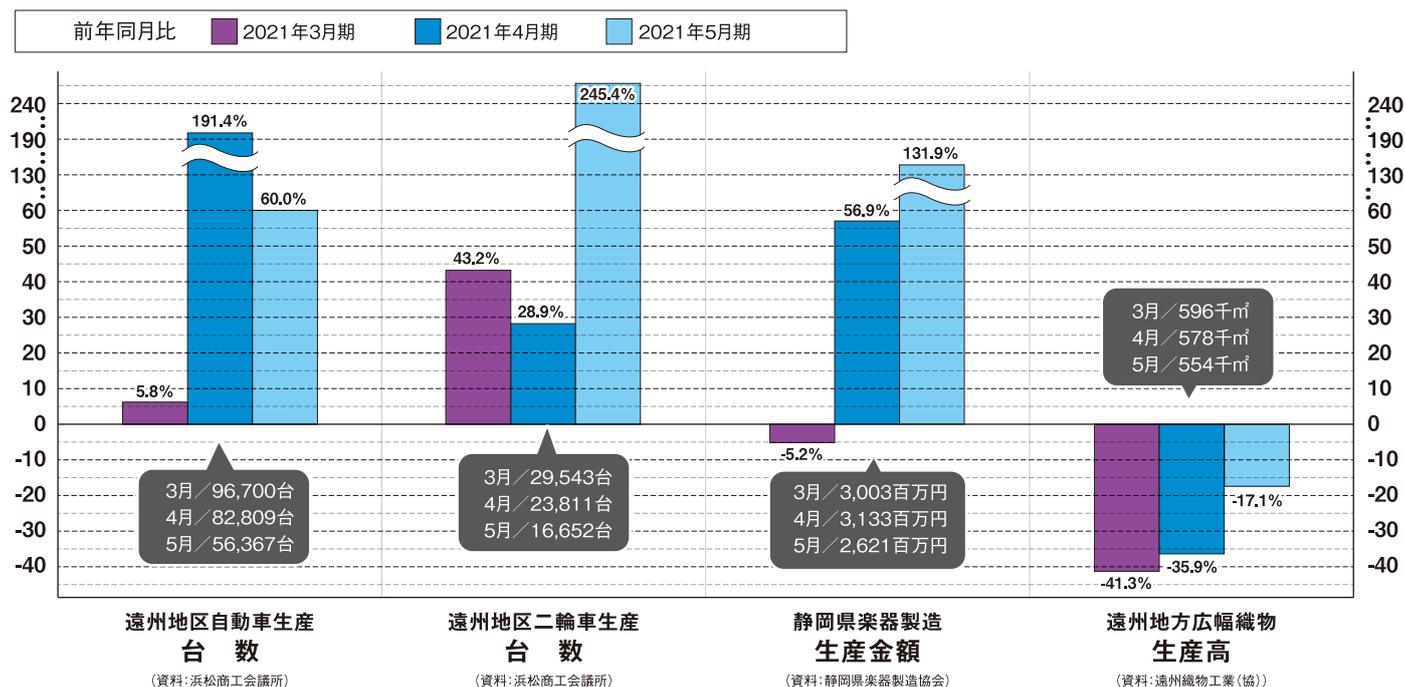
2021年5月を中心に

新型コロナウイルス感染症再拡大、観光業に痛手

5月に入り、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響で、浜松まつりは縮小、各種イベントは開催自粛となり、浜松市内ホテル宿泊者数、タクシー利用者数は低調に推移した。製造業生産高は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。浜松管内有効求人倍率は0.97と2カ月連続で1倍を下回った。静岡県全体の有効求人倍率は前月を0.07ポイント上回る1.08に改善されているが、浜松管内は0.01ポイントの改善にとどまった。雇用情勢の回復は遅れている。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年5月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比60.0%増の5.6万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車全てにおいて増加した。国内向けは前年同月比50%増、輸出は99.2%の増となった。前年同月は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、工場の操業一時停止や販売店の休業が相次いだため生産が大きく落ち込んでいた。新型コロナウイルス感染症拡大前の前々年同月との比較では、半導体不足などで生産・販売とも制限を受けたため1.7万台減となった。

二輪車



2021年5月における二輪車生産台数は前年が新型コロナウイルス感染症の影響で生産が落ち込んでいたため、前年同月比245.4%増の1.6万台となった。国内向けは前年同月比17.9%減、輸出は前年同月比459.5%増となった。排気量別では50cc以下前年比4.3%減、51cc～125cc以下4223.3%増、126cc～250cc以下453.9%増、251cc以上292.5%増であった。輸出は4カ月連続で前年同月を上回り好調に推移している。

楽器



2021年5月における生産金額は前年同月比131.9%増の26.2億円となった。ピアノ136.6%増、電子・電気ピアノ132.7%増、電子オルガン106.3%増、管楽器173.3%増となっている。全ての品目で、前年同月を上回ったが、前月との比較では、5.1億円、前々年との比較では5.7億円少なく、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。

繊維



2021年5月の生産高は前年同月比17.1%減の554千㎡となった。前年比マイナスとなるのは26カ月連続。5月は秋冬向けの衣料生地生産時期であり、元々、綿織物の需要が少ない時期ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響で衣料品自体の市場が縮小してきていることも生産高減少の要因の一つとなっている。先の見えない厳しい状況が続いている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年5月におけるタクシー乗車人員は前年同月比52.6%増の23.4万人となった。新型コロナ感染症拡大以前の前々年との比較では23.2万人減少している。浜松まつり縮小開催、中旬からは新型コロナ感染症再拡大の影響で外出を控える人が増え、夜の繁華街での利用客も減少した。

観光

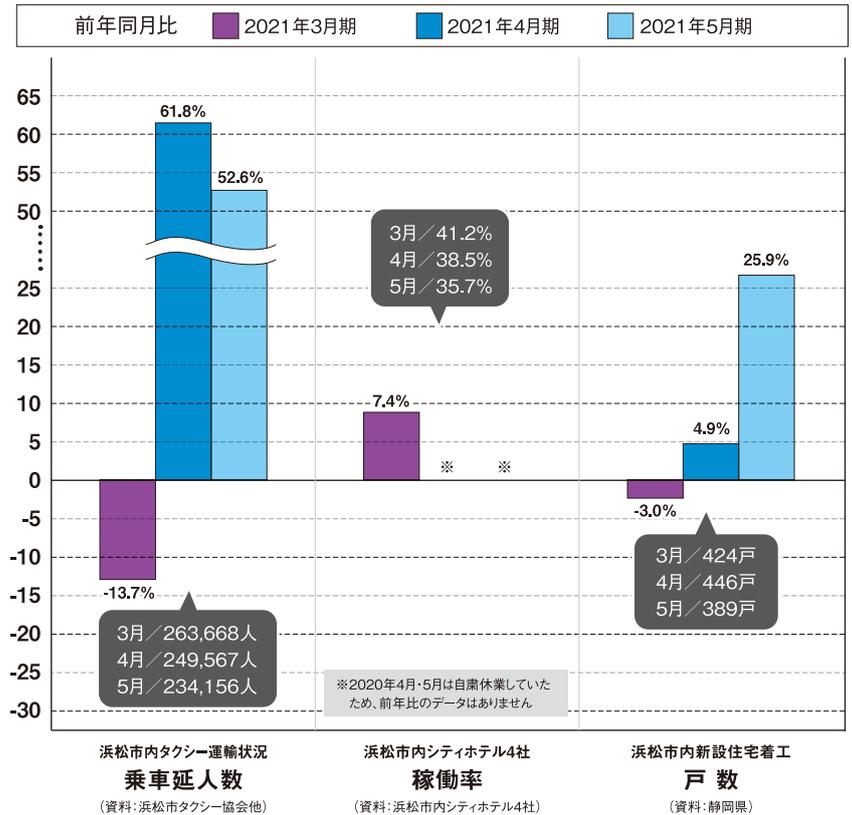


観光業では、5月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より2.8ポイント悪化し35.7%となった。稼働率は2カ月連続で4割未満と厳しい状態が続いている。前年同月は新型コロナ感染症のため自粛休業となっていた。個人宿泊客は、Gotoトラベルキャンペーン、はままつ元気旅の一時停止により伸び悩み、団体客は、企業関係研修会、スポーツ競技会自粛の影響を受け低調に推移した。

住宅着工



2021年5月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比25.9%増の389戸となった。持家は前年同月比10戸増加、貸家は59戸増加、分譲住宅は12戸増加であった。持家、貸家、分譲住宅全てにおいて前年同月を上回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を234戸上回る1,775戸であった。浜松市は前月との比較では57戸下回った。静岡市との比較では109戸上回った。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年5月の有効求人倍率は、2カ月連続で1倍を下回った。前年同月比よりは0.02ポイント上昇し0.97となった。全国(1.09)との比較では0.12ポイント、静岡県(1.08)との比較では0.11ポイント下回った。月間有効求職者数は、前年同月と比較して754人増加した。前月との有効求人倍率比較は、全国は同率、静岡県は0.07ポイント上昇、浜松管内は0.01ポイント上昇した。浜松管内の雇用情勢は、全国、静岡県より回復が遅れている。

倒産企業



2021年5月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は2件、負債総額は1.0億円となった。倒産企業数は前年同月より1件減少、前月からは6件減少した。静岡県全体の倒産件数は14件で前年同月より1件増加した。新型コロナ感染症再拡大で企業業績への影響が懸念される。

ガソリン価格

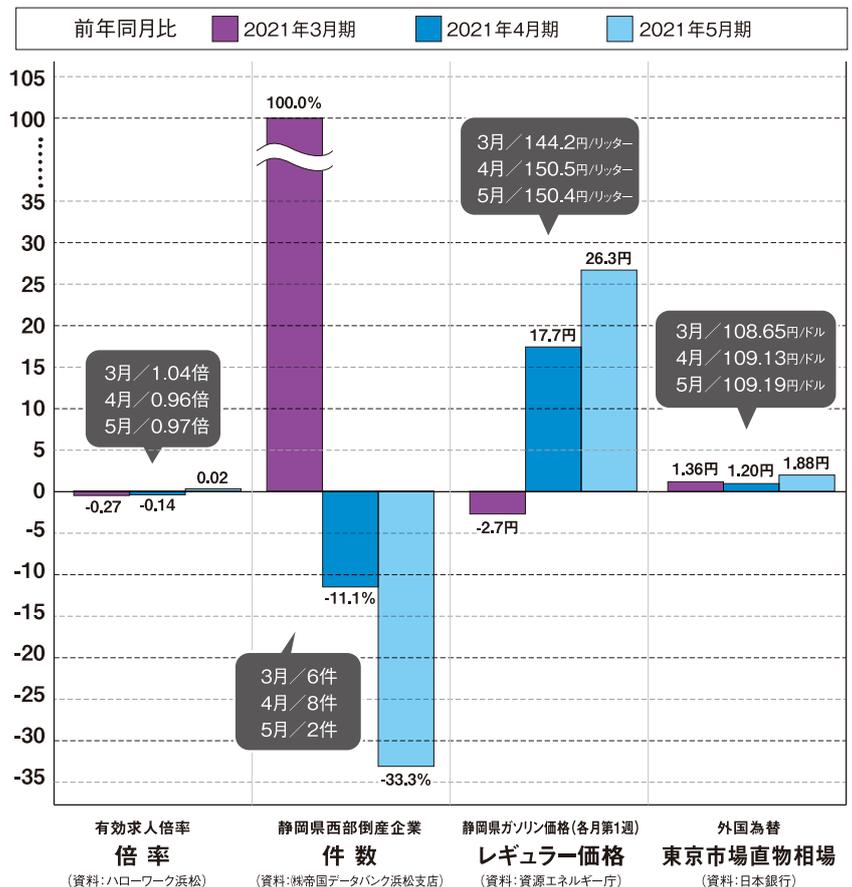


2021年5月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり150.4円となった。前月比0.1円下降、前年同月と比較すると26.3円上昇した。2カ月連続で150円を超えている。産油国の生産調整や円安が続いていることもありガソリン価格は高止まり傾向となっている。

外国為替



2021年5月の外国為替は1ドル109.19円、前年同月と比較すると1.88円の円安、前月との比較では0.06円の円安となった。5カ月連続で前月より円安となっている。



業況はコロナ前の水準に近づくも、先行きに不透明感あり

2021.
4月～6月期

中小企業景気動向調査
結果報告

2021年8月発行

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、数値的には4四半期連続で回復。ただし、飲食・宿泊・レジャー等は依然厳しく、輸送用機器関連業種も、半導体不足の悪影響が出てきている。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全 体				うち小規模事業者			
	調査数	業 況			調査数	業 況		
		前 期	今 期	見通し		前 期	今 期	見通し
全 体	628				262			
二輪車部品製造	47				22			
自動車部品製造	74				19			
機械部品製造	57				33			
楽器部品製造	19				12			
繊維製造	24				21			
卸売業	77				32			
小売業	61				27			
建設業	69				9			
不動産業	44				29			
飲食・宿泊・レジャー等	22				「2021年4月～6月期中小企業景気動向調査」より 浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 主要取引先での生産増加（二輪車・船外機）となっている。（二輪車部品製造）
- 半導体不足の影響による生産調整が予定されており、6～8月は減収減益の見通し。（自動車部品製造）
- 木材の仕入難、国内木材価格の高騰の影響が出てきている。（製材）
- ワクチン接種が進み、人出が戻れば、事業継続にも期待が持てる。（飲食）

天気予報図の見方

DI:景気動向指数



浜松地域の経済動向

2021年6月を中心に

半導体不足が自動車生産台数に悪影響

6月は、二輪車生産台数、楽器製造金額が、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復した。住宅着工件数も堅調に推移した。自動車生産台数は、車載用半導体不足の影響もあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅に生産台数が落ち込んだ前年をも下回る実績となった。運輸・観光業は、浜松地域でも新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まったが、感染拡大が続いており外出自粛により低調に推移した。浜松管内の雇用情勢は全国、静岡県が回復傾向にあるなか、有効求人倍率が3カ月連続で1倍を下回るなど依然厳しい状態が続いている。

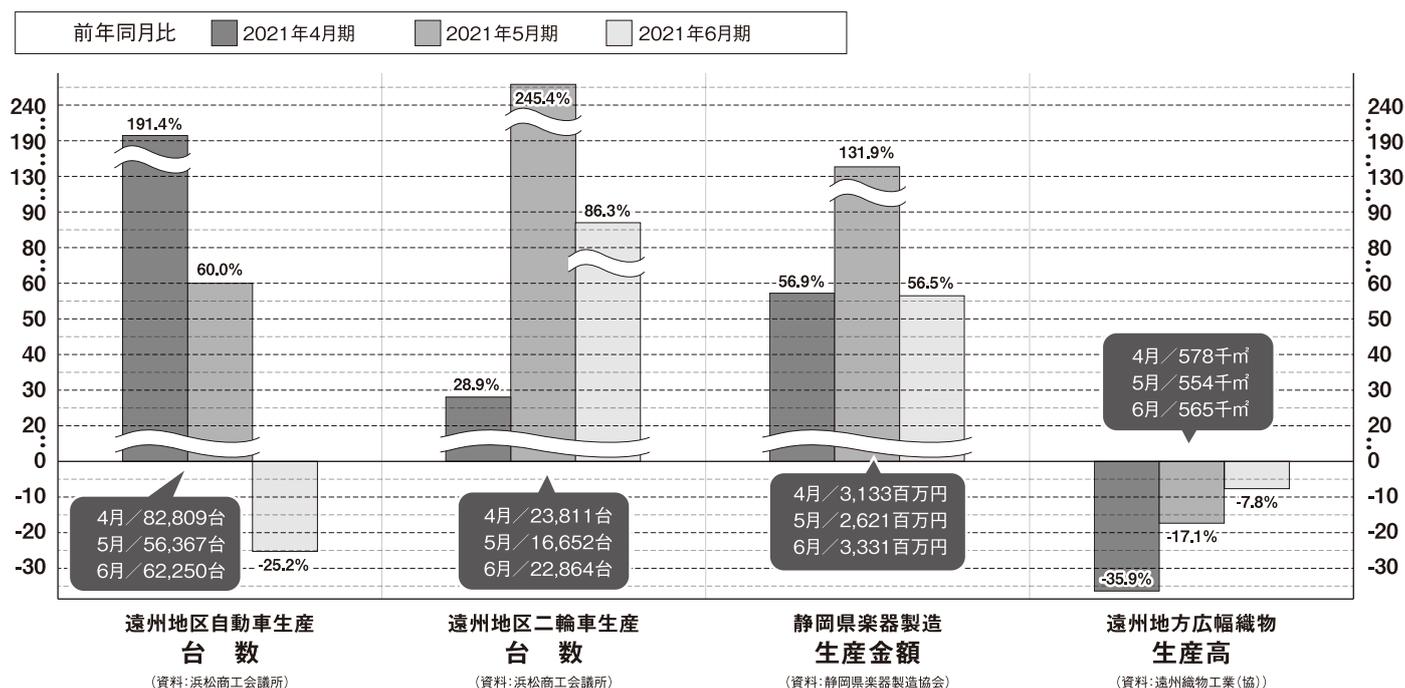
2021.

9

2021年9月発行

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年6月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比25.2%減の6.2万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車すべてで減少した。国内向けは前年同月比26.8%減、輸出は18.6%減となった。車載用半導体不足の影響による工場稼働率低下により、前年同月実績を下回った。前年同月、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で生産台数が8.3万台に落ち込んでいたが、今年にはさらに下回る実績となった。

二輪車



2021年6月における二輪車生産台数は前年が新型コロナウイルス感染症の影響で生産が落ち込んでいたため、前年同月比86.3%増の2.2万台となった。国内向けは前年同月比30.6%増、輸出は前年同月比103.5%増となった。排気量別では50cc以下前年比41.9%増、51cc~125cc以下43.3%減、126cc~250cc以下305.2%増、251cc以上109.6%増であった。輸出は5カ月連続で前年同月を上回り好調に推移している。密になるのを避けるため、二輪車が選ばれているという要因が考えられる。

楽器



2021年6月における生産金額は前年同月比56.5%増の33.3億円となった。ピアノ60.1%増、電子・電気ピアノ99.1%増、電子オルガン24.1%増、管楽器17.3%増となった。3カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。前月との比較では、7.1億円増加した。前々年同月の生産金額31.5億円を上回っており、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復した。

繊維



2021年6月の生産高は前年同月比7.8%減の565千㎡となった。前年比マイナスとなるのは27カ月連続。緊急事態宣言が発令されるたびに外出を控える人が増え、受注が低迷するという悪循環に陥っている。また、原材料である綿糸価格は高止まり傾向にあり、今後の収益への影響が懸念される。

浜松地域の経済動向

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年6月におけるタクシー乗車人員は前年同月比1.6%減の24.6万人となった。新型コロナウイルス感染症拡大以前の前々年との比較では20.4万人減少しており、ほぼ半減となっている。週末、土日に外出する人はいまだ少なく、期待されたワクチン接種会場への送迎も、ワクチン接種の遅れもあり思ったほど増えてはいない。各社、乗務員、営業車を減らし対応している。

観光

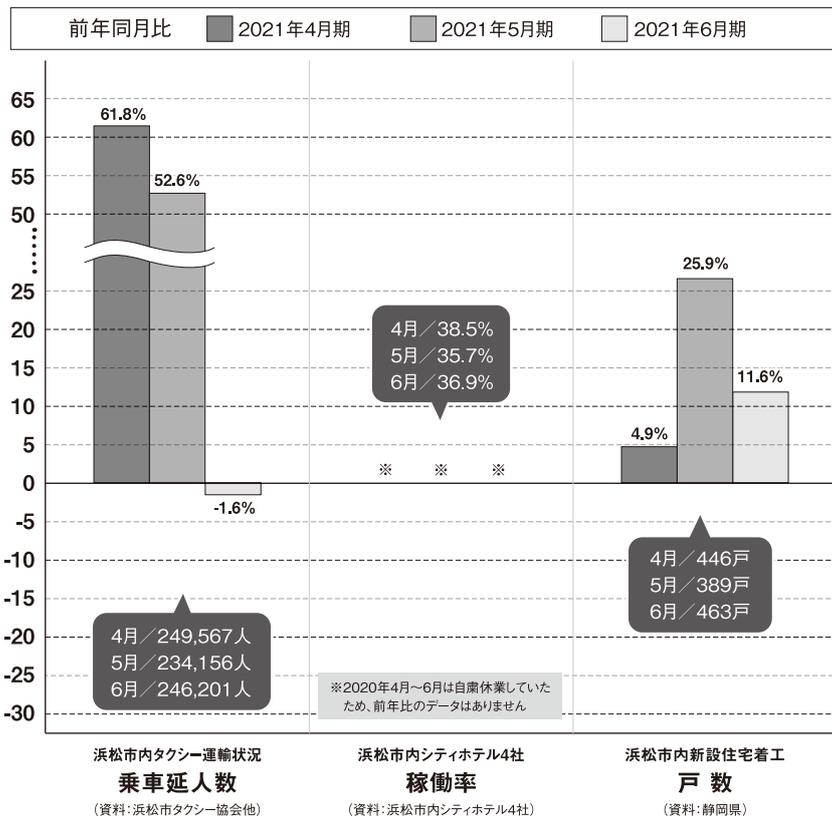


観光業では、6月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より1.2ポイント上昇し36.9%となった。前年同月は新型コロナウイルス感染症のため自粛休業となっていた。稼働率は前月よりわずかに上昇したが、3カ月連続で4割未満と依然厳しい状態が続いている。コロナワクチンの接種が開始されたが、企業関係の研修会、スポーツ競技会の自粛が続いており稼働率が上がらない要因の一つとなっている。

住宅着工



2021年6月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比11.6%増の463戸となった。持家は前年同月比30戸増、貸家は24戸増、分譲住宅は6戸減であった。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を41戸上回る1,831戸であった。浜松市は前月との比較では74戸上回った。静岡市との比較では48戸上回った。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年6月の有効求人倍率は3カ月連続で1倍を下回った。前年同月比よりは0.12ポイント上昇し0.99となった。全国(1.13)との比較では0.14ポイント、静岡県(1.14)との比較では0.15ポイント下回った。月間有効求職者数は、前年同月と比較して110人減少した。前月との有効求人倍率比較は、全国は0.04ポイント上昇、静岡県は0.06ポイント上昇、浜松管内は0.02ポイント上昇した。浜松管内の有効求人数は増加してきておらず雇用情勢の改善は遅れている。

倒産企業



2021年6月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は8件、負債総額は9.5億円となった。倒産企業数は前年同月より1件減少、前月からは6件増加した。静岡県全体の倒産件数は17件で前年同月より15件減少した。新型コロナワクチン接種が進んできているが、感染者数は減少せず、企業業績への影響が懸念される。

ガソリン価格

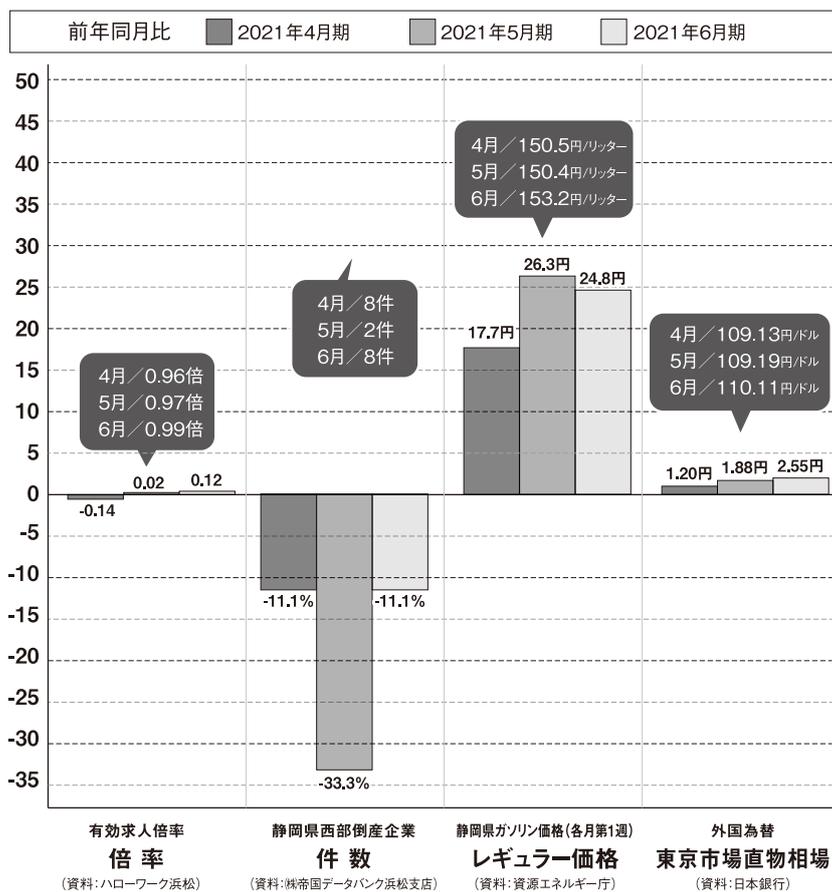


2021年6月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり153.2円となった。前月比2.8円上昇、前年同月と比較すると24.8円上昇した。3カ月連続で150円を超えており、ガソリン価格は高止まり状態が続いている。

外国為替



2021年6月の外国為替は1ドル110.11円、前年同月と比較する2.55円の円安、前月との比較では0.92円の円安となった。6カ月連続で前月より円安となるなど円安傾向が続いている。



浜松地域の経済動向

2021年7月を中心に

一部に弱さがみられるものの、持ち直してきている。

自動車生産台数は、半導体不足で工場が一時停止になったこともあり前年同月を下回った。

新設住宅着工戸数も、前年同月を下回った。

二輪車生産台数、楽器製造金額は前年同月を上回るなど堅調に推移した。

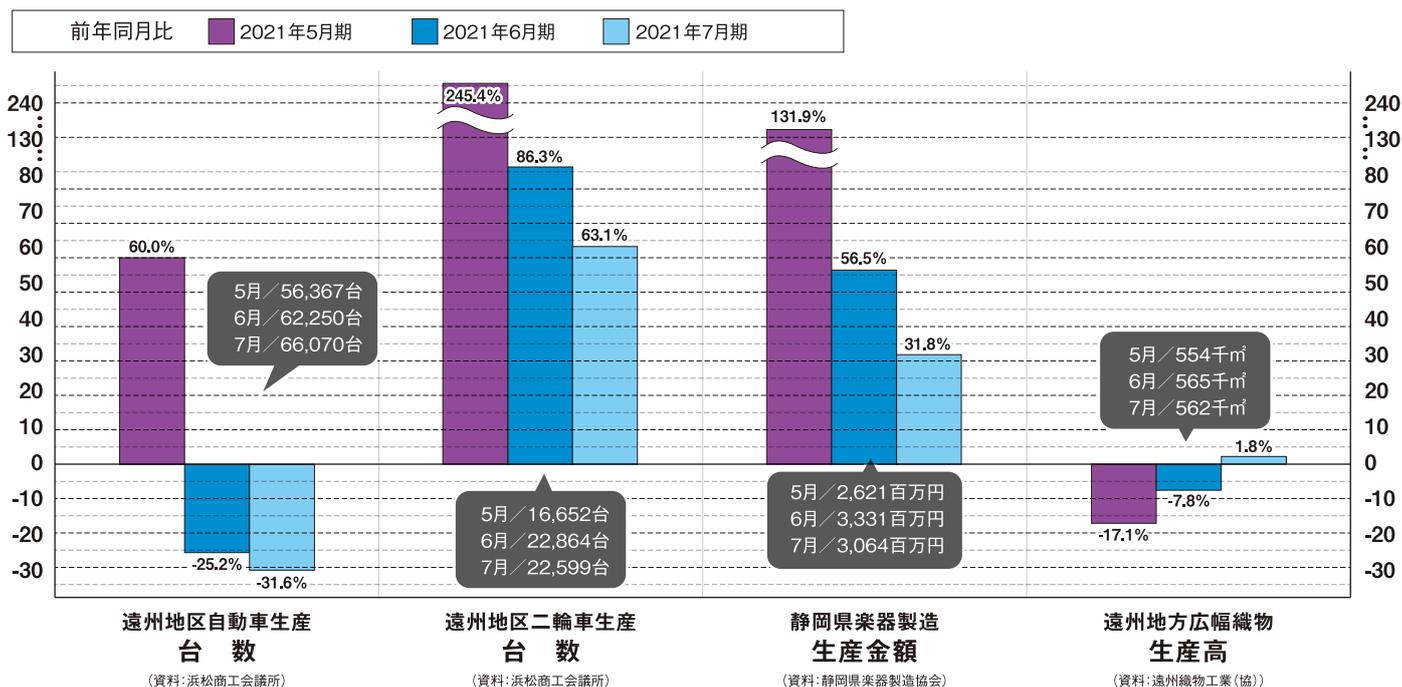
運輸・観光業では、静岡県観光促進事業の開始によりホテル稼働率は前年を上回っていたが、月の後半に新型コロナウイルス感染者数が増加し始めてからは低調に推移した。

雇用情勢は、浜松管内の有効求人倍率が1.08倍と4カ月ぶりに1倍を超えるなど改善が見られた。

ガソリン価格は3カ月連続で前月を上回るなど上昇傾向にある。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年7月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比31.6%減の6.6万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車すべてで減少した。国内向けは前年同月比31.7%減、輸出は31.2%減となった。受注はあるが、半導体不足の影響により需要を満たす生産が出来ない状態となっている。工場の一時停止は4月から4カ月連続となった。

二輪車



2021年7月における二輪車生産台数は前年同月比63.1%増の2.2万台となった。国内向けは前年同月比19.5%増、輸出は前年同月比80.4%増となった。排気量別では50cc以下前年比8.3%減、51cc～125cc以下1.2%減、126cc～250cc以下9.4%減、251cc以上143.8%増であった。輸出は6カ月連続で前年同月を上回っている。前年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生産台数は落ち込んでいたが、二輪車は密を防ぐ交通手段として注目されてきたこともあり、7月の生産台数は新型コロナウイルス感染症拡大前の前々年7月(22,023台)を上回った。

楽器



2021年7月における生産金額は前年同月比31.8%増の30.6億円となった。ピアノ27.2%増、電子・電気ピアノ8.3%増、電子オルガン150.0%増、管楽器13.2%増となった。4カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。販売の増加に伴い工場の稼働率は高くなっており、一部で休日出勤や残業により対応している。

繊維



2021年7月の生産高は前年同月比1.8%増の562千㎡となった。28カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。コロナ禍であっても販路をもつ工場は比較的安定した生産高を確保できているが、自ら販路を持たない工場は厳しい状態が続いている。外出を自粛する人が多く、来春夏向けの受注は芳しくない。10月に予定の展示会の開催も危ぶまれている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年7月におけるタクシー乗車人員は前年同月比0.4%減の27.7万人となった。乗車人員は、最初順調に推移していたが、下旬に新型コロナウイルス感染者が増加し始めてからは低調となった。また、オリンピック開幕に合わせ宅配サービスを開始したが、単価が安いという収入の増加には繋がらなかった。

観光

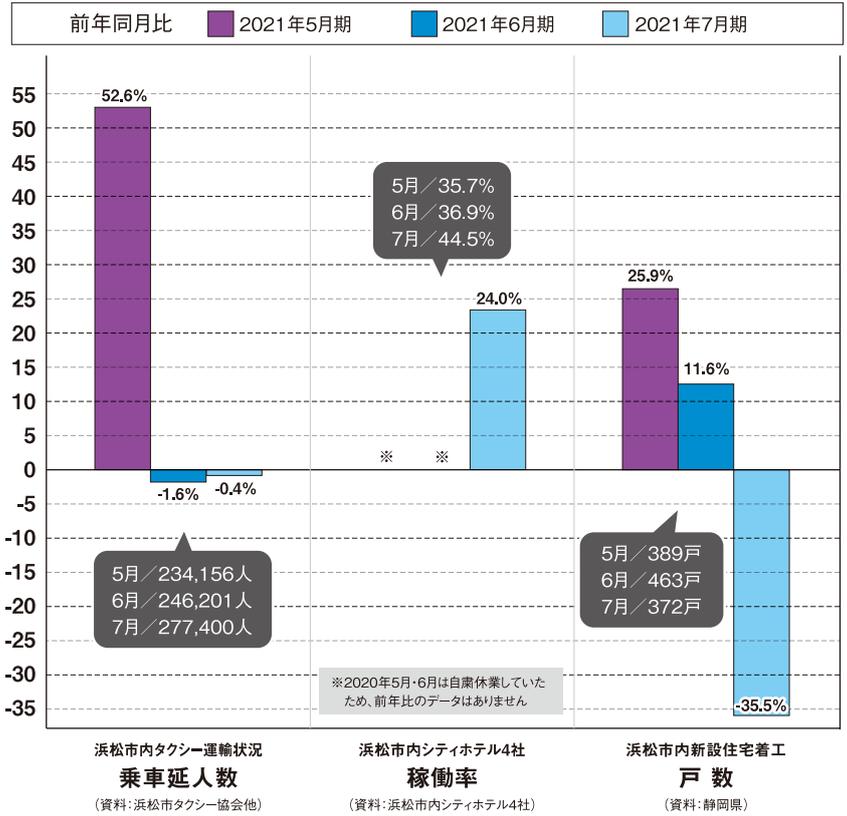


観光業では、7月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より7.6ポイント上昇し44.5%となった。前年は中止となっていたイベント、会合が今年は一部開催されたことと静岡県観光促進事業開始により、個人客、団体客とも増加した。前年同月稼働率を24.0ポイント上回ったが、新型コロナウイルス感染拡大前の前々年同月との比較では43.9ポイント下回っている。

住宅着工



2021年7月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比35.5%減の372戸となった。持家は前年同月比32戸減、貸家は19戸減、分譲住宅は154戸減であった。持家、貸家、分譲住宅すべてで前年同月を下回った。特に、分譲住宅の着工件数の減少が大きかった。前月との比較では91戸下回り、静岡市との比較では66戸下回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を270戸下回る1,632戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年7月の有効求人倍率は1.08倍と4カ月ぶりに1倍を上回った。前年同月との比較では0.23ポイント上回った。全国(1.15)との比較では0.07ポイント、静岡県(1.22)との比較では0.14ポイント下回った。前月との比較では、0.09ポイント上回った。浜松管内の有効求人数は前月より125人増加しており、雇用情勢の改善が見られる。

倒産企業



2021年7月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は2件、負債総額は1.0億円となった。倒産企業数は前年同月より4件、前月からは6件減少した。静岡県全体の倒産件数は13件で前年同月より7件減少した。新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、企業業績への影響が懸念される。

ガソリン価格

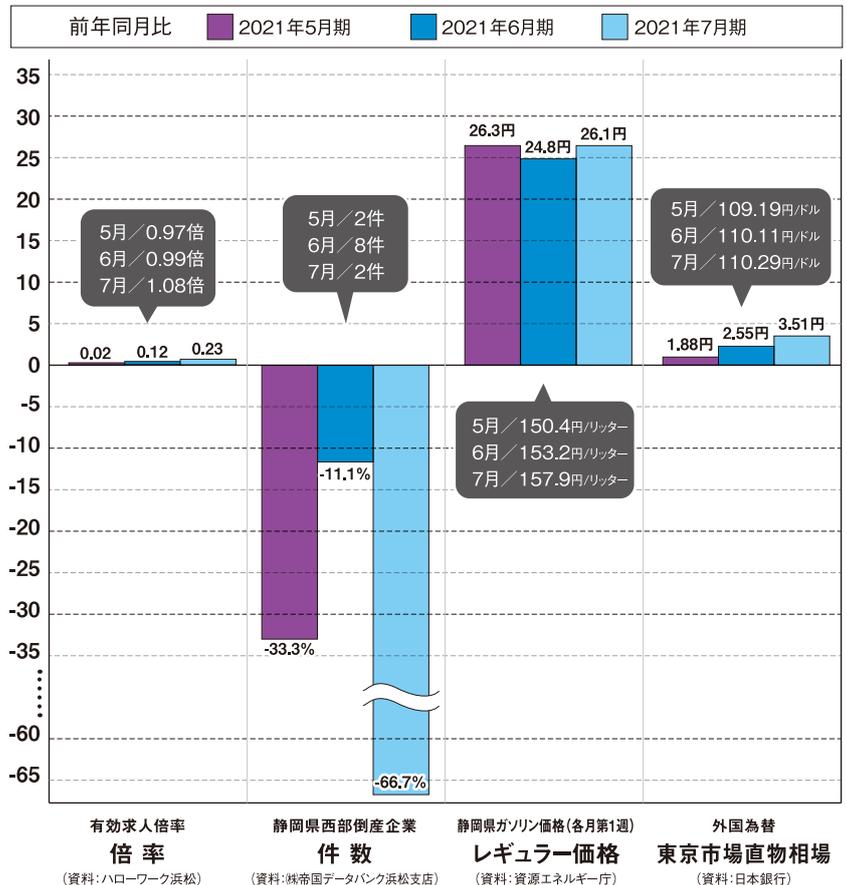


2021年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり157.9円となった。前月比4.7円上昇、前年同月と比較すると26.1円上昇した。4カ月連続で150円を超えとなった。3カ月連続で前月価格を上回っており上昇傾向となっている。

外国為替



2021年7月の外国為替は1ドル110.29円、前年同月と比較すると3.51円の円安、前月との比較では0.18円の円安となった。7カ月連続で前月より円安となるなど円安に歯止めが掛かっていない。



浜松地域の経済動向

2021年8月を中心に

新型コロナウイルス感染再拡大の影響などから景気は足踏み状態にある

浜松地域の景気は、足踏み状態にある。

自動車生産台数は半導体などの供給制約の影響を受け減産となった。

新型コロナウイルス感染症の再拡大による、蔓延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言により、

タクシー乗車人数は前年同月を下回り、

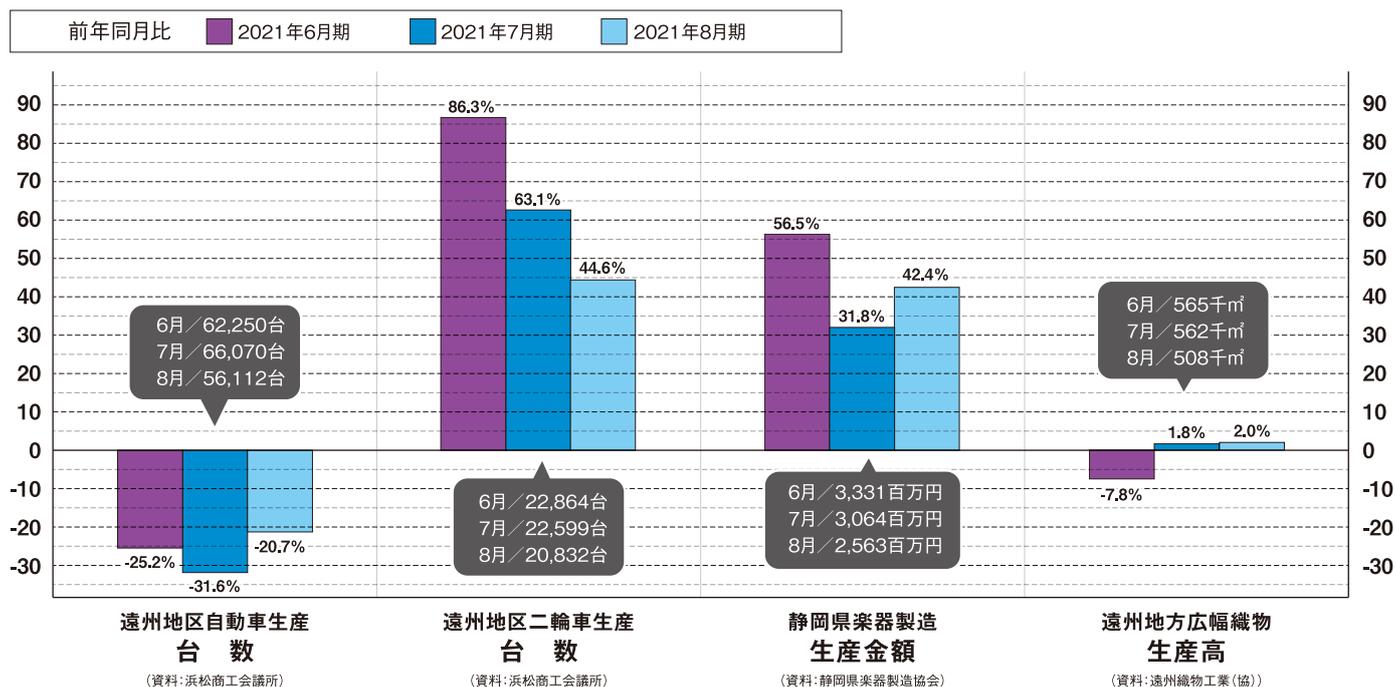
浜松市内ホテル稼働率は前年同月を上回ったものの稼働率44.4%と低調であった。

8月の浜松管内の有効求人倍率は前月より0.03ポイント上昇し1.11倍となったが、全国、静岡県を下回っている。

倒産企業数は前年同月より少なかったが、負債額は増加した。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年8月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比20.7%減の5.6万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車全てで減少した。国内向けは前年同月比24.8%減、輸出は5.3%減となった。半導体などの部品不足で工場を一時停止したこともあり減産となった。現状、需要はあるが在庫がない状態となっている。

二輪車



2021年8月における二輪車生産台数は前年同月比44.6%増の2.0万台となった。国内向けは前年同月比158.4%増、輸出は前年同月比30.6%増となった。排気量別では50cc以下前年比29.4%増、51cc～125cc以下38.9%増、126cc～250cc以下21.5%減、251cc以上74.2%増であった。輸出は7カ月連続で前年同月を上回り、国内向けも3カ月連続で前年同月を上回った。

楽器



2021年8月における生産金額は前年同月比42.4%増の25.6億円となった。前々年同月との比較では0.9億円下回った。ピアノ36.2%増、電子・電気ピアノ65.8%増、管楽器17.2%増となった。5カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。

繊維



2021年8月の生産高は前年同月比2.0%増の508千㎡となった。2カ月連続で前年同月を上回ったが、前月からは54千㎡減少した。緊急事態宣言発令により需要は減少しており、店頭での衣料品販売は芳しくない。来春夏向けの生産が始まる時期が近づいているが、受注は伸び悩んでおり、厳しい状況が続いている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年8月におけるタクシー乗車人員は前年同月比6.9%減の20.1万人となった。新型コロナウイルス感染者が増加し、8日からの蔓延防止等重点措置の適用、20日からの緊急事態宣言により、繁華街の夜間利用者が激減し、昼間の通院や買い物での利用者、ホテル客、出張客も少ない。各社、乗務員・営業車を減らして対応している。

観光

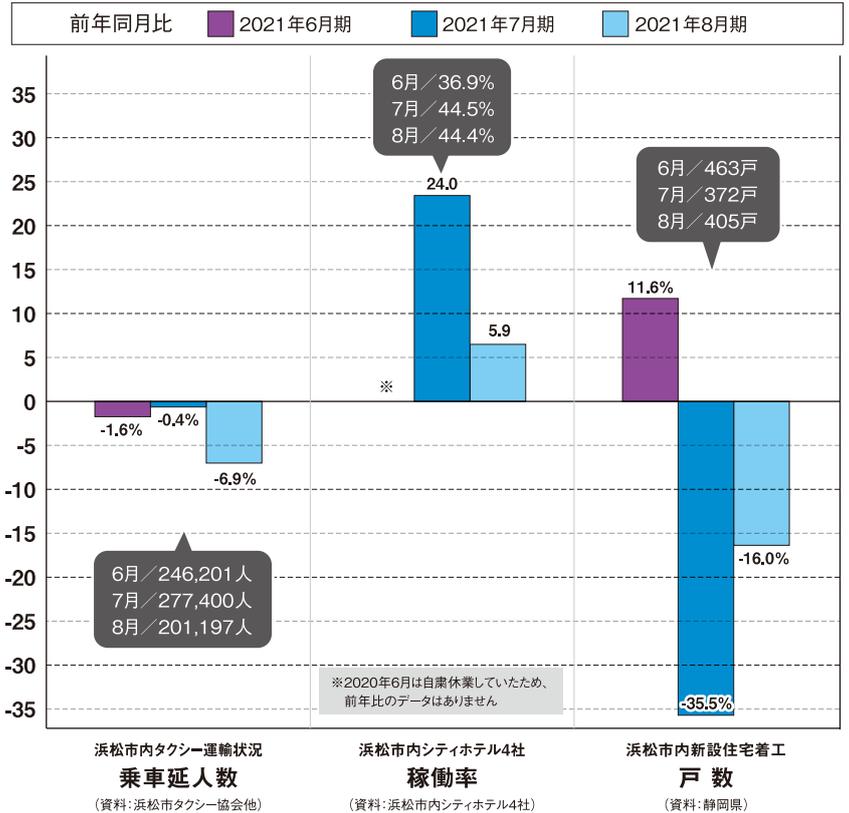


観光業では、8月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より0.1ポイント下降し44.4%となった。お盆期間中は、個人観光客、ファミリー層の利用で比較的順調に推移したが、緊急事態宣言以降は低調に推移した。前年は中止となっていたイベント、会合が一部開催にとどまり、厳しい状態が続いている。

住宅着工



2021年8月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.0%減の405戸となった。持家は前年同月比12戸増、貸家は29戸増、分譲住宅は120戸減であった。分譲住宅の着工件数の減少が大きかった。前月との比較では33戸上回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を187戸上回る1,793戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年8月の有効求人倍率は1.11倍と2カ月連続で1倍を上回った。前年同月との比較では0.27ポイント上回った。全国(1.14)との比較では0.03ポイント、静岡県(1.23)との比較では0.12ポイント下回った。前月との比較では、0.03ポイント上回った。浜松管内の有効求人数は前月より74人増加。雇用情勢の改善はみられるが、全国、静岡県を上回るまでには至っていない。

倒産企業



2021年8月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は6.8億円となった。倒産企業数は前年同月より2件減少したが、負債額は6.0億円増加した。前月からは1件増加した。静岡県全体の倒産件数は10件で前年同月より4件減少した。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で倒産の増加が懸念されたが、各種支援策により倒産は抑制されている。

ガソリン価格

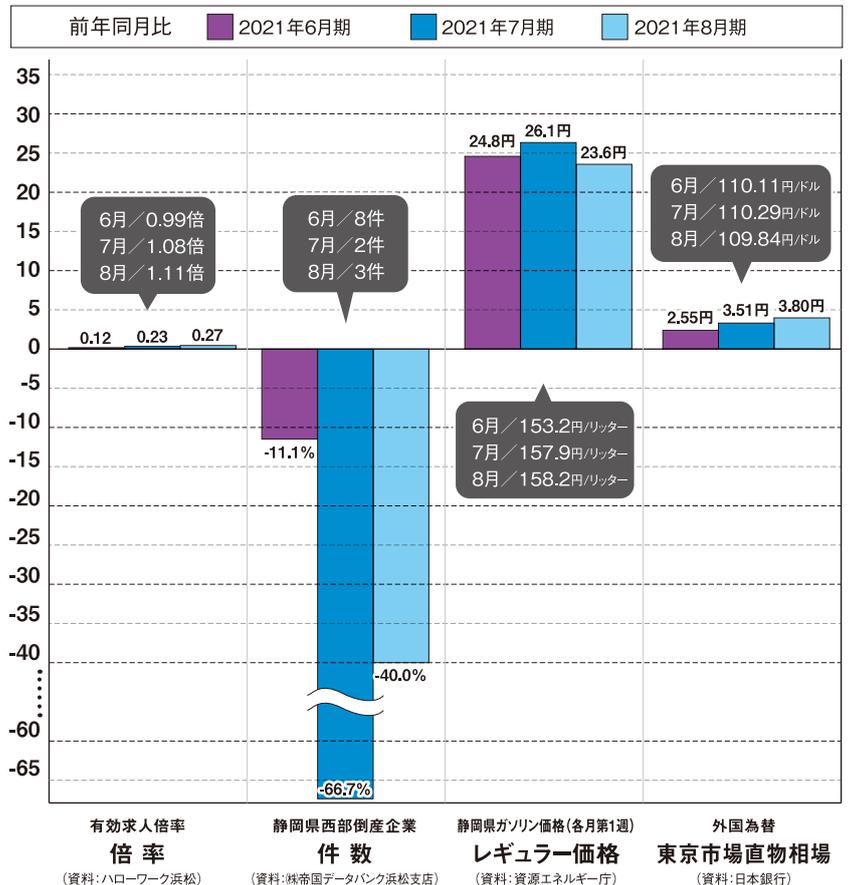


2021年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり158.2円となった。前月比0.3円上昇、前年同月と比較すると23.6円上昇した。5カ月連続で150円を超えた。4カ月連続で前月価格を上回っており上昇傾向が続いている。

外国為替



2021年7月の外国為替は1ドル109.84円、前年同月と比較すると3.8円の円安、前月との比較では0.45円の円高となった。8月は前月より円高となったが依然円安傾向は続いている。



緊急事態宣言と部品供給不足が回復基調に水を差す

2021.
7月～9月期

中小企業景気動向調査
結果報告

2021年11月発行

4 四半期連続で回復基調だった静岡県西部地域中小企業の業況判断指数は、ここで悪化に転じた。緊急事態宣言と半導体不足、東南アジアのサプライチェーンの乱れが悪化要因となった。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全体				うち小規模事業者			
	調査数	業況			調査数	業況		
		前期	今期	見通し		前期	今期	見通し
全体	626				252			
二輪車部品製造	49				20			
自動車部品製造	75				19			
機械部品製造	57				32			
楽器部品製造	22				14			
繊維製造	23				20			
卸売業	76				28			
小売業	60				24			
建設業	69				10			
不動産業	44				29			
飲食・宿泊・レジャー等	30				「2021年7月～9月期中小企業景気動向調査」より 浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 半導体不足の影響により、売上が減少している。(自動車部品製造)
- Zoomを利用した商談やWeb申込システムを充実させ、効率化・IT化を図っている。(卸売業)
- ウッドショックの影響で、工期の延長をせざるを得なくなった。(建設業)
- 緊急事態宣言によってキャンセルも出ているが、昨年の宣言時より客は多い。(レジャー)

天気予報図の見方

DI:景気動向指数



浜松地域の経済動向

2021年9月を中心に

部品供給制約の影響などから、製造業は足踏み状態が続いている。

浜松地域の景気は、足踏み状態が続いている。

自動車、二輪車は半導体等部品・部材の調達難、物流の混乱の影響もあり減産となった。

運輸・観光業では、緊急事態宣言により外出を控えた人が多く、

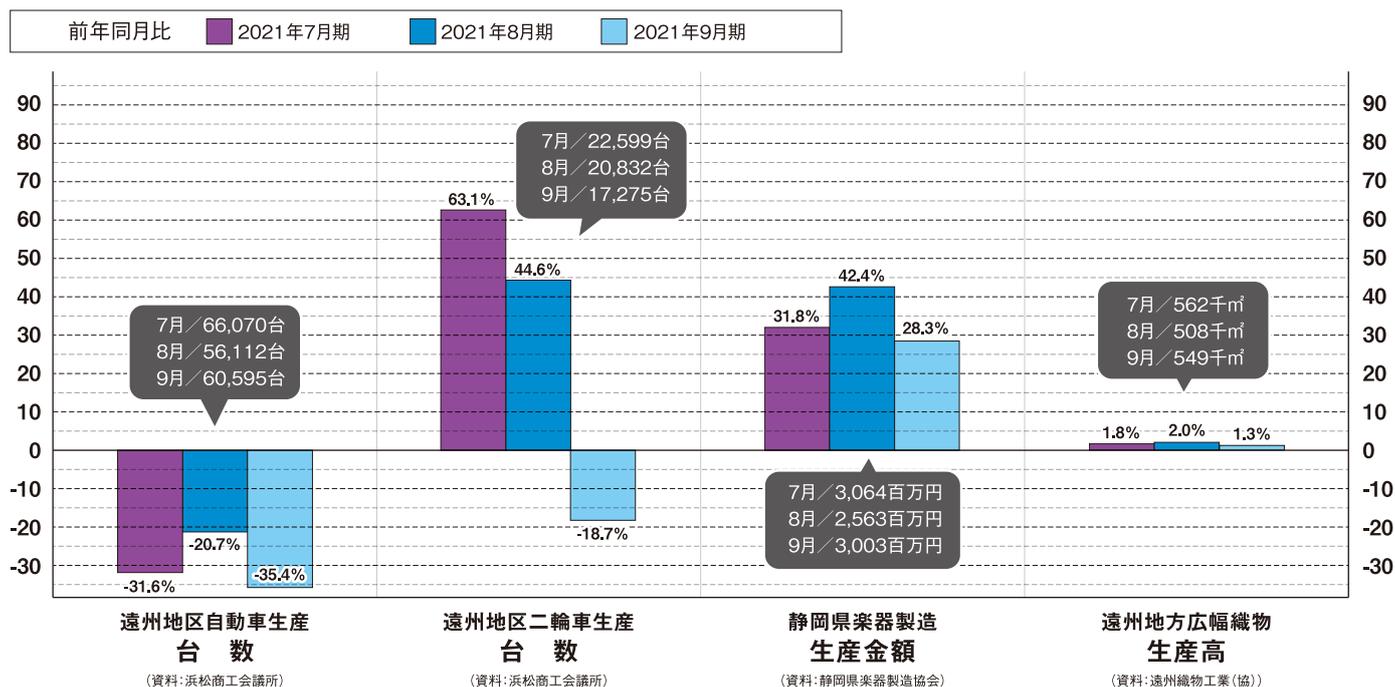
タクシー乗車人員、ホテル宿泊客数は前年同月を下回った。

有効求人倍率は改善がみられるが、倒産件数は前年同月、前月より増加している。

徐々に経済活動は再開してきているが、ガソリン価格の上昇、円安が経済活動にあたえる影響が懸念される。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年9月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比35.4%減の6.0万台となった。前年同月との比較では、輸出は4.3%増加したが国内向けは44.8%減少した。部品供給不足、半導体の調達難により、軽自動車、小型自動車、普通車すべてで生産が減少した。納期遅れも懸念されている。

二輪車



2021年9月における二輪車生産台数は前年同月比18.7%減の1.7万台となった。国内向けは29.6%増、輸出は24.9%減。排気量別では、50cc以下1.1%減、51cc～125cc以下0.6%増、126cc～250cc以下46.8%減、251cc以上18.7%減であった。輸出は前月まで7カ月連続で前年同月を上回っていたが9月は減少に転じた。半導体や樹脂、部品・部材調達難が影響している。

楽器



2021年9月における生産金額は前年同月比28.3%増の30.0億円となった。ピアノ23.6%増、電子・電気ピアノ19.1%増、電子オルガン80.3%増、管楽器14.7%増となった。6カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。市況は回復傾向にあるが、半導体不足や物流混乱などで商品供給への影響が懸念される。

繊維



2021年9月の生産高は前年同月比1.3%増の549千㎡となった。3カ月連続で前年同月を上回った。前月からは41千㎡増加した。来春夏向けの受注は振るわず低調に推移しており本格回復には至っていない。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年9月におけるタクシー乗車人員は前年同月比31.6%減の17.1万人となった。9月末まで続いた緊急事態宣言の影響で利用客は大幅に減少した。飲食店などでアルコールの提供が制限されたため繁華街の利用者は少なく、ホテル、出張での利用客も減少した。

観光

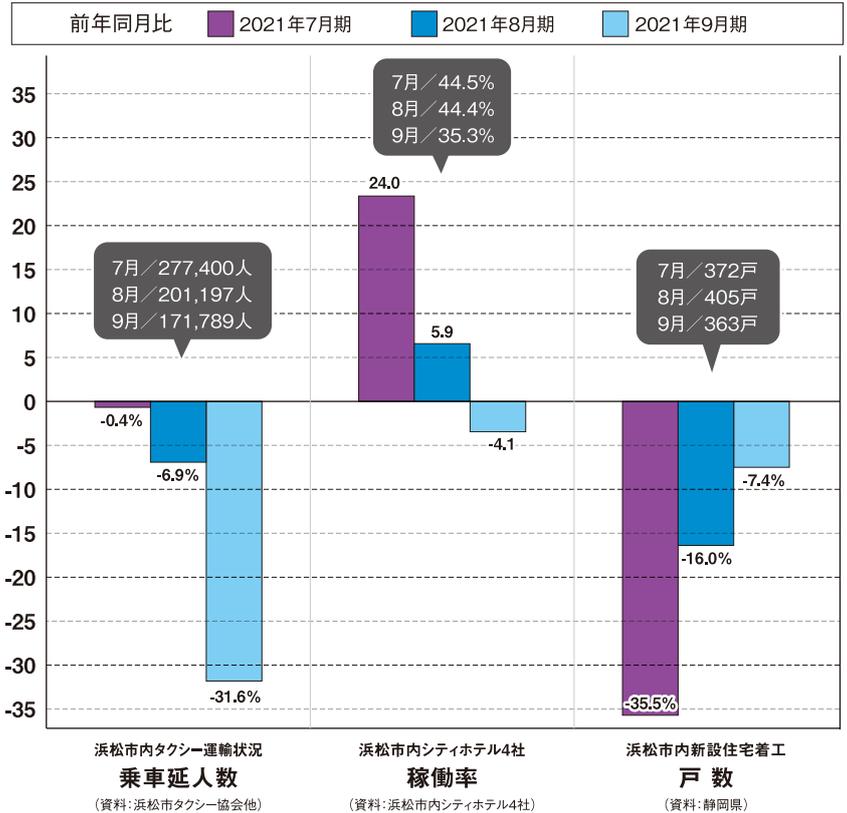


9月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月より4.1ポイント、前月より9.1ポイント下降した。利用客の中心はビジネスマンで、緊急事態宣言の発令の影響で各種イベントの中止が相次いだこともあり個人、団体での利用客は月を通して低調であった。

住宅着工



2021年9月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.4%減の363戸となった。持家は前年同月比27戸増、貸家は59戸減、分譲住宅は6戸減であった。貸家住宅の着工件数の減少が大きかった。前月との比較では42戸下回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を132戸下回る1,641戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年9月の有効求人倍率は1.18倍と3カ月連続で1倍を上回った。前年同月との比較では0.32ポイント上回った。全国(1.16)との比較では0.02ポイント上回り、静岡県(1.21)との比較では0.03ポイント下回った。前月との比較では0.07ポイント上回った。浜松管内の有効求人数は前月より700人増加し雇用情勢の改善はみられるが、静岡県の有効求人倍率を上回るまでには至っていない。

倒産企業



2021年9月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は10件、負債総額は3.9億円となった。倒産企業数は前年同月より7件、負債額は0.3億円増加した。前月からは7件増加した。静岡県全体の倒産件数は18件で前年同月より3件増加した。新型コロナウイルス感染症以外にも、半導体不足やウッドショック、原油高などのマイナス要因があり、今後、幅広い業界で倒産が増えてくる可能性がある。

ガソリン価格

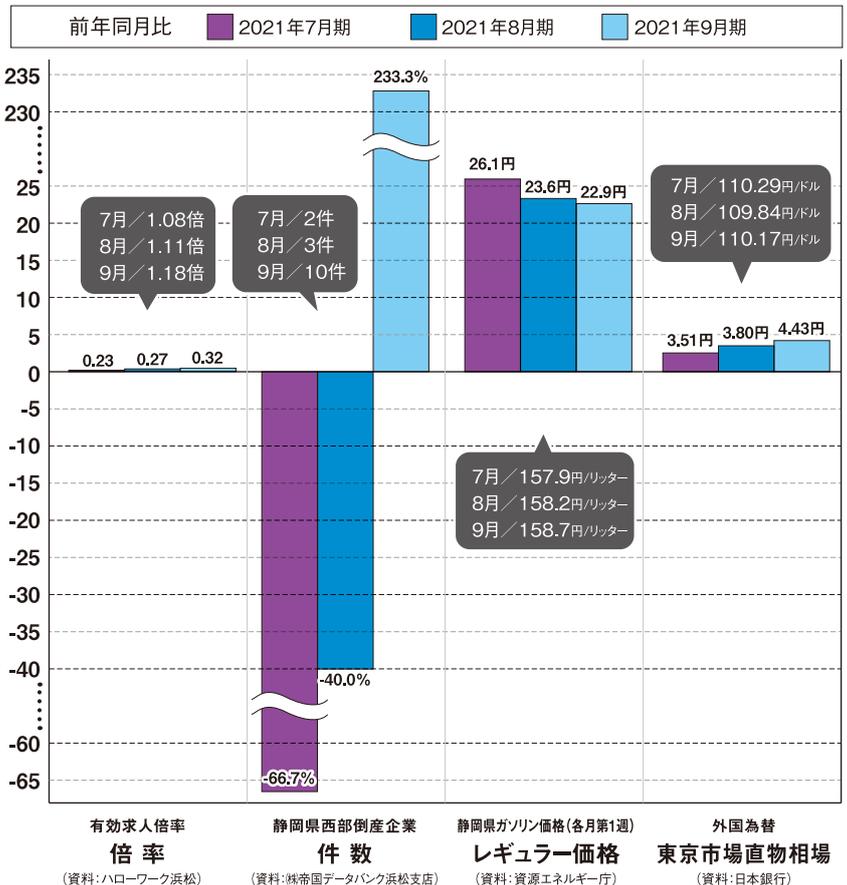


2021年9月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり158.7円となった。前年同月と比較すると22.9円上昇した。コロナ禍からの経済回復による需要増加、円安、産油国の増産見送りなどによりガソリン価格は上昇傾向となっている。

外国為替



2021年9月の外国為替は1ドル110.17円、前年同月と比較すると4.43円、前月との比較では0.33円の円安となった。米国でのインフレ懸念の高まり、原油価格の高騰、米金利上昇などが為替に影響を与えている。円安による輸入物価の上昇が懸念される。



浜松地域の経済動向

2021年10月を中心に

ガソリンなどエネルギー価格の高騰による、
企業活動、日常生活への影響が懸念される

浜松地域の生産活動は持ち直しの動きに一服感がみられる。

自動車、二輪車は、部品供給不足、物流の混乱の影響を受けている。

緊急事態宣言解除と県の観光支援策によりホテル稼働率は上昇した。

遠州地方広幅織物では、綿糸など原材料価格の上昇が続いている。改善傾向にあった有効求人倍率も10月は前月を下回った。

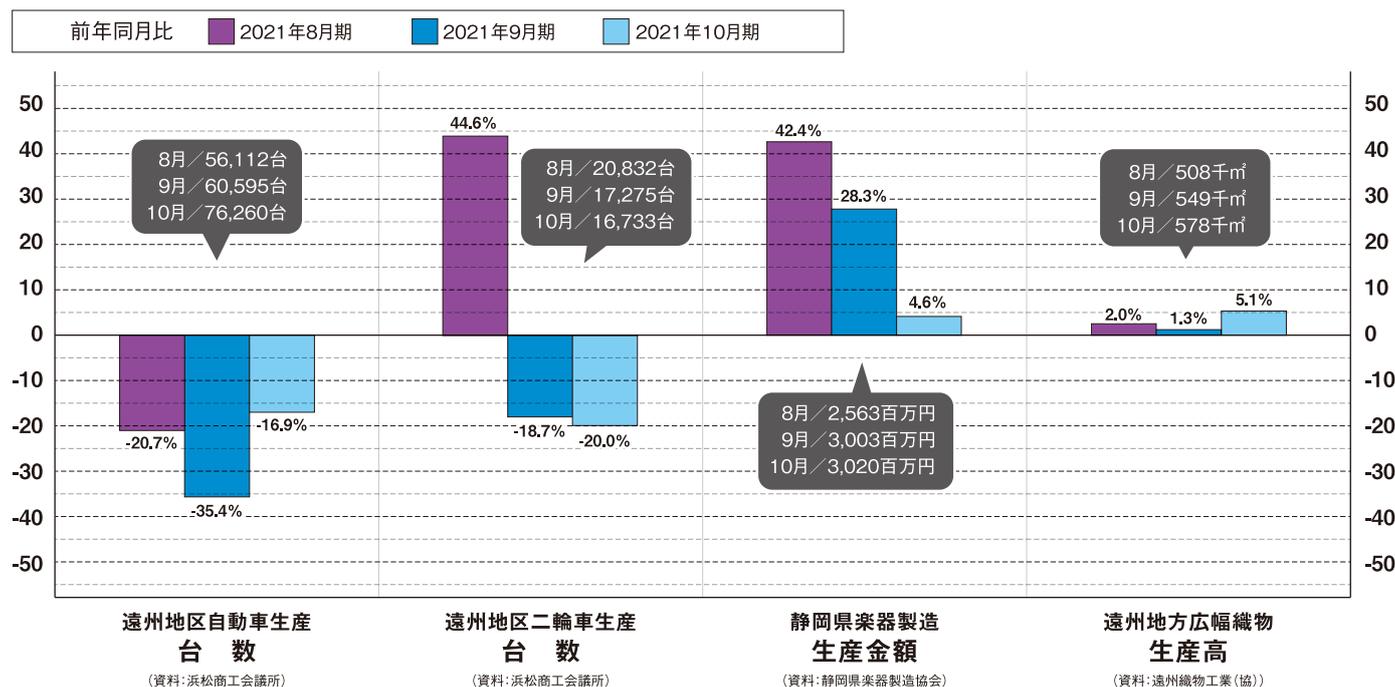
新型コロナウイルス感染症の長期化、ガソリンなどエネルギー価格の上昇、円安進行などによる企業業績や日常生活への影響が懸念される。

2022.

1月

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年10月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比16.9%減の7.6万台となった。輸出は11.1%増加したが国内向けは24.8%減少した。半導体および東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部品供給不足が生産に影響し、新車の供給が遅延する状態となっている。

二輪車



2021年10月における二輪車生産台数は前年同月比20.0%減の1.6万台となった。国内向けは1.0%減、輸出は22.5%減であった。排気量別では、50cc以下3.7%減、51cc～125cc以下24.1%増、126cc～250cc以下60.9%減、251cc以上20.0%減であった。アウトドアレジャー市場の世界的な活況で需要は旺盛だが部品不足が解消されないため増産できない状態となっている。

楽器



2021年10月における生産金額は前年同月比4.6%増の30.2億円となった。ピアノ8.1%増、電子・電気ピアノ19.8%増、電子オルガン37.3%減、管楽器4.4%減となった。楽器の市況は回復傾向にあるが、半導体不足や物流の混乱などで商品の供給が追いつかない状況が続いている。

繊維



2021年10月の生産高は前年同月比5.1%増の578千㎡となった。4カ月連続で前年同月を上回った。前月からは29千㎡増加した。10月に入り、来春夏向けの受注に回復の兆しが見られたが、中旬以降は低迷した。綿糸など原材料価格高騰による生産コストの上昇が続いている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年10月におけるタクシー乗車人員は前年同月比5.1%減の27.4万人となった。緊急事態解除後、ホテルおよび繁華街での乗車数は増加したが前年を上回るまでには至っていない。GoToトラベルキャンペーンの早期再開に期待をかけている。

観光

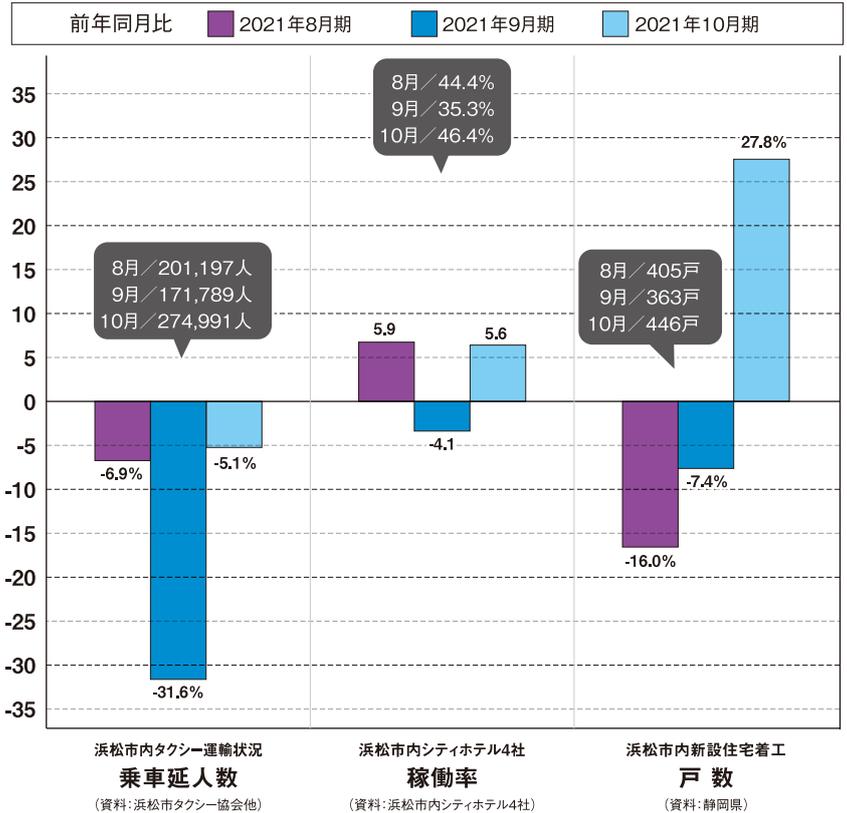


10月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月より5.6ポイント、前月より11.1ポイント上昇した。緊急事態宣言が解除され、ビジネス利用客が増加した。10月後半にバイサイズオカ〜今こそ!しすおか!!元気旅!!!が始まってからは観光客も増加した。

住宅着工



2021年10月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比27.8%増の446戸となった。持家は前年同月比27戸増、貸家は62戸増、分譲住宅は9戸増であった。持家、貸家、分譲住宅すべてで前年同月を上回った。前月との比較では83戸上回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を418戸上回る2,079戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年10月の有効求人倍率は1.16倍と4カ月連続で1倍を上回った。前年同月との比較では0.26ポイント上回った。全国(1.15)との比較では0.01ポイント上回り、静岡県(1.16)と同率であった。浜松管内の有効求人数は前月より75人増加し、有効求職者数は286人増加した。有効求人倍率は前月より0.02ポイント低下した。

倒産企業



2021年10月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は7件、負債総額は8.7億円となった。倒産企業数は前年同月より2件、負債額は5.2億円増加した。前月からは3件減少した。静岡県全体の倒産件数は19件で前年同月より3件増加した。現状、倒産件数に大きな変化はないが、新型コロナ感染症の長期化、急激に進む円安、ガソリン価格等エネルギー価格の上昇が不安材料となっている。

ガソリン価格

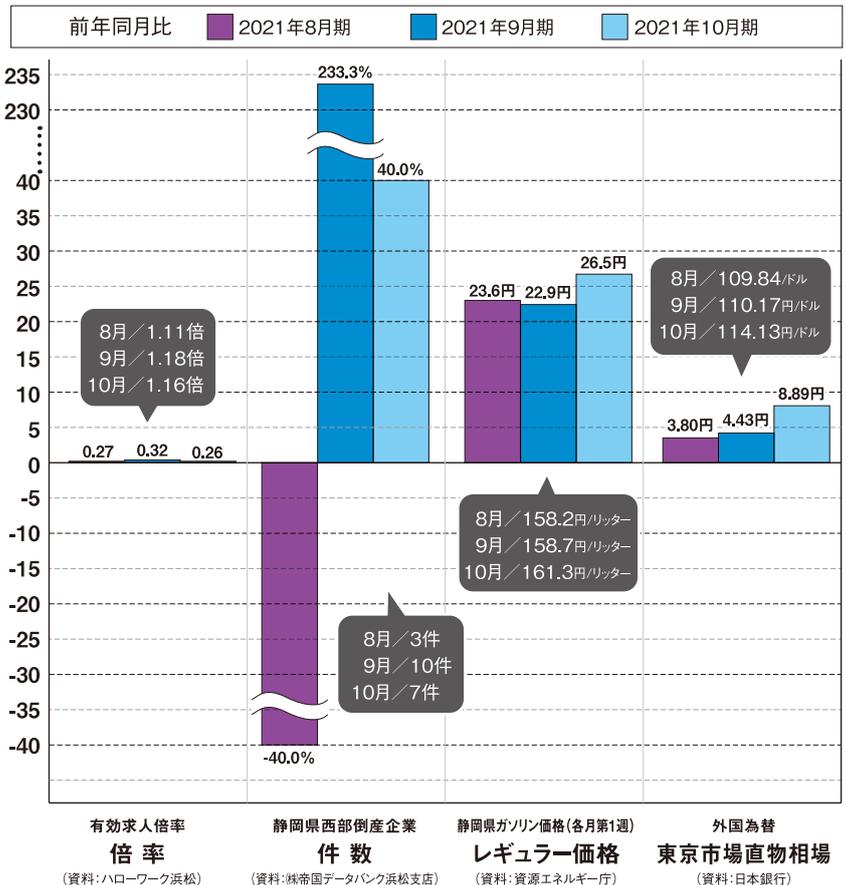


2021年10月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり161.3円となった。前年同月と比較すると26.5円上昇した。ガソリン価格の上昇が続いており、企業活動や日常生活への影響が懸念される。

外国為替



2021年9月の外国為替は1ドル114.13円、前年同月と比較すると8.89円の円安。前月との比較では3.96円の円安となった。米国の金利上昇によりドルが買われていることが円安要因の一つとなっている。円安による輸入物価の上昇が懸念される。



浜松地域の経済動向

2021年11月を中心に

新型コロナウイルス感染者数の減少と部品供給制約の緩和で、持ち直しの兆しが見られる。

11月の浜松地域の経済活動は持ち直しの兆しが見られる。

自動車、二輪車は、部品供給制約が和らぎ生産台数が増加した。楽器製造金額も堅調に推移している。

タクシー乗車人員は出張での利用客は回復していないが、繁華街での利用者は戻ってきている。

新設住宅着工件数も堅調に推移している。浜松管内における有効求人倍率は1.18倍と全国1.15、静岡県1.13を上回った。

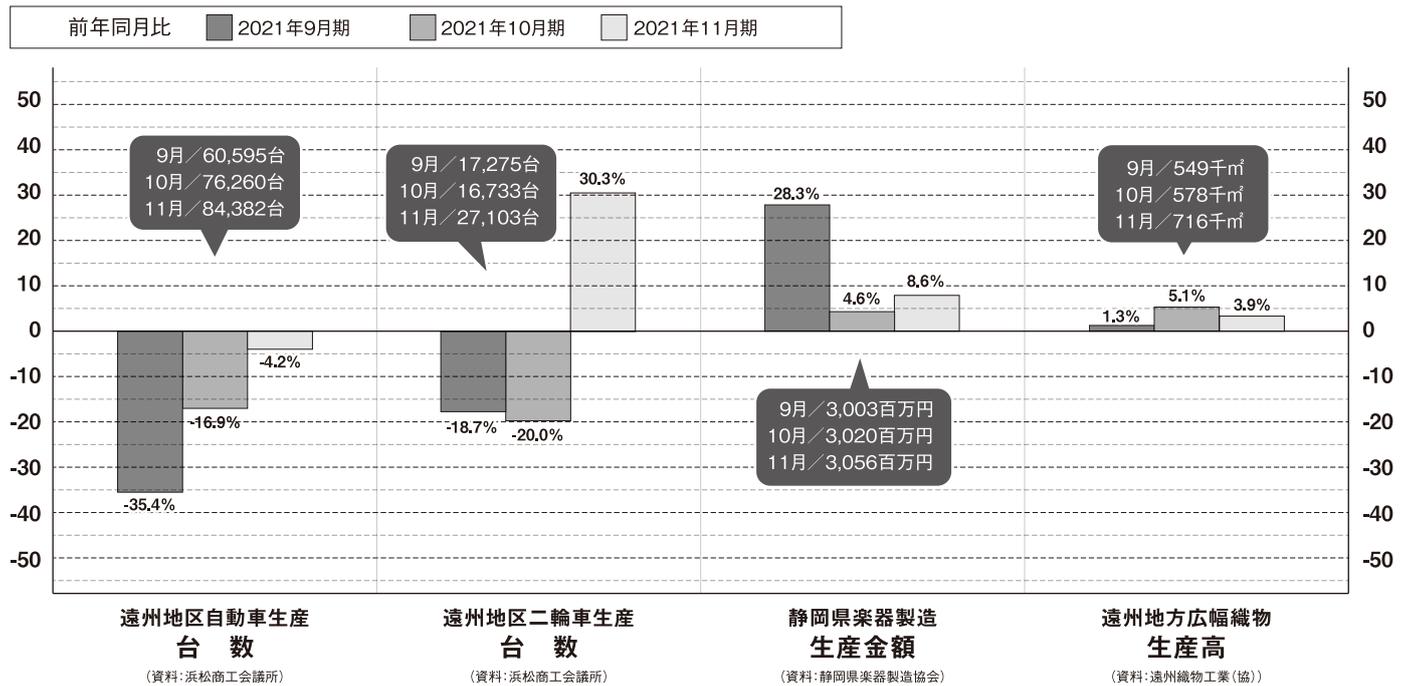
有効求人数は5カ月連続で前月を上回るなど雇用情勢の改善が見られる。

2022.

2月

2022年2月発行
発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年11月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比4.2%減の8.4万台となった。遠州地区自動車生産台数で大きな割合を占める軽自動車生産台数は前年同月比マイナスが続いていたが11月はプラスに転じた。小型四輪車生産台数はマイナスが続いているが、普通自動車は2カ月連続プラスと堅調に推移している。半導体および部品不足が緩和されつつあり、生産台数は3カ月連続で前月を上回るなど持ち直しの動きが見られる。

二輪車



2021年11月における二輪車生産台数は前年同月比30.3%増の2.7万台となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の前々年同月も上回った。国内向けは15.4%増加、輸出は円安が進んでいることもあり32.3%の増加であった。排気量別では、50cc以下31.8%増、51cc～125cc以下18.8%増、126cc～250cc以下28.2%減、251cc以上48.9%増であった。「密」を避ける手段として二輪車の人気が高まっており、需要は旺盛となっている。

楽器



2021年11月における生産金額は前年同月比8.6%増の30.5億円となった。8カ月連続で前年同月を上回った。分野別に11月の生産金額を見てみると、ピアノ5.7%増、電子・電気ピアノ78.0%増、電子オルガン1.2%増、管楽器1.6%減となった。管楽器以外はすべて前年同月を上回った。コロナ禍で家にいる時間が長くなり、生活に潤いを与え、豊かにするという楽器の価値が見直され、楽器製造金額は堅調に推移している。

繊維



2021年11月の生産高は前年同月比3.9%増の716千㎡となった。5カ月連続で前年同月を上回った。11月は2022年春夏向けの受注に回復の兆しが見られ、生産高は前月から138千㎡増加した。綿糸価格の高騰が続いており、生産コストの上昇による収益への悪影響が懸念される。

浜松地域の経済動向

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年11月におけるタクシー乗車人員は前年同月比13.6%増の28.5万人となった。緊急事態解除後、週末の夜の利用客は増加している。ホテルでの利用客は、少人数催事が増えたこともあり増加した。しかし、出張での利用客はいまだに少なく、各社乗務員の出勤時間調整を行っている。

観光

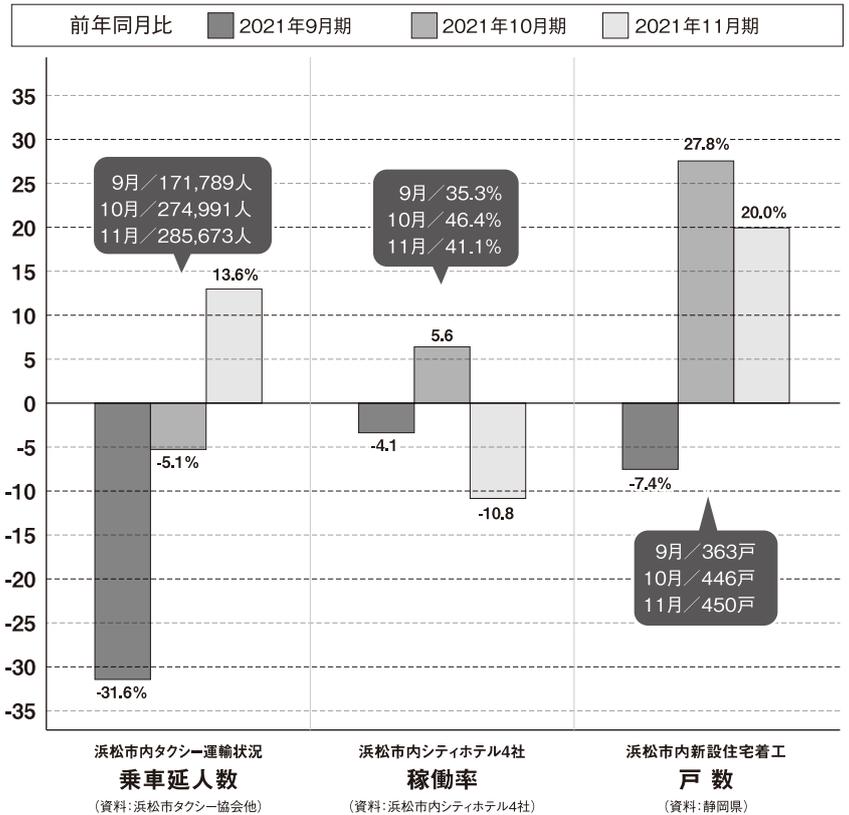


11月の浜松市内ホテルの稼働率は、GoToトラベルキャンペーン効果で50%を超える稼働率であった前年同月より10.8ポイント低い41.1%であった。前月との比較では5.3ポイント下回った。常連客は戻りつつあり、ビジネス利用客は増加したが、観光での利用客は低調に推移した。

住宅着工



2021年11月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比20.0%増の450戸となった。持家は前年同月比48戸増、貸家は16戸減、分譲住宅は44戸増であった。前月との比較では4戸上回った。浜松市内新設住宅着工件数は2カ月連続で前月を上回っており、住宅需要は堅調に推移している。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を176戸上回る1,939戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年11月の有効求人倍率は1.18倍と5カ月連続で1倍を上回った。前月との比較では0.02ポイント、前年同月との比較では0.23ポイント上回った。全国(1.15)との比較では0.03ポイント、静岡県(1.13)との比較では0.05ポイント上回った。浜松管内の有効求人倍率は5カ月連続で前月を上回っており、雇用情勢の改善が見られる。

倒産企業



2021年11月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は6件、負債総額は2.2億円となった。倒産企業数は前年同月より1件増加、負債額は0.9億円減少した。前月からは1件減少した。静岡県全体の倒産件数は16件で前年同月より2件増加した。2021年は新型コロナウイルス感染症の長期化により、飲食業、観光業を中心に倒産企業数の増加が懸念されたが、9月を除いて一桁台で推移した。

ガソリン価格

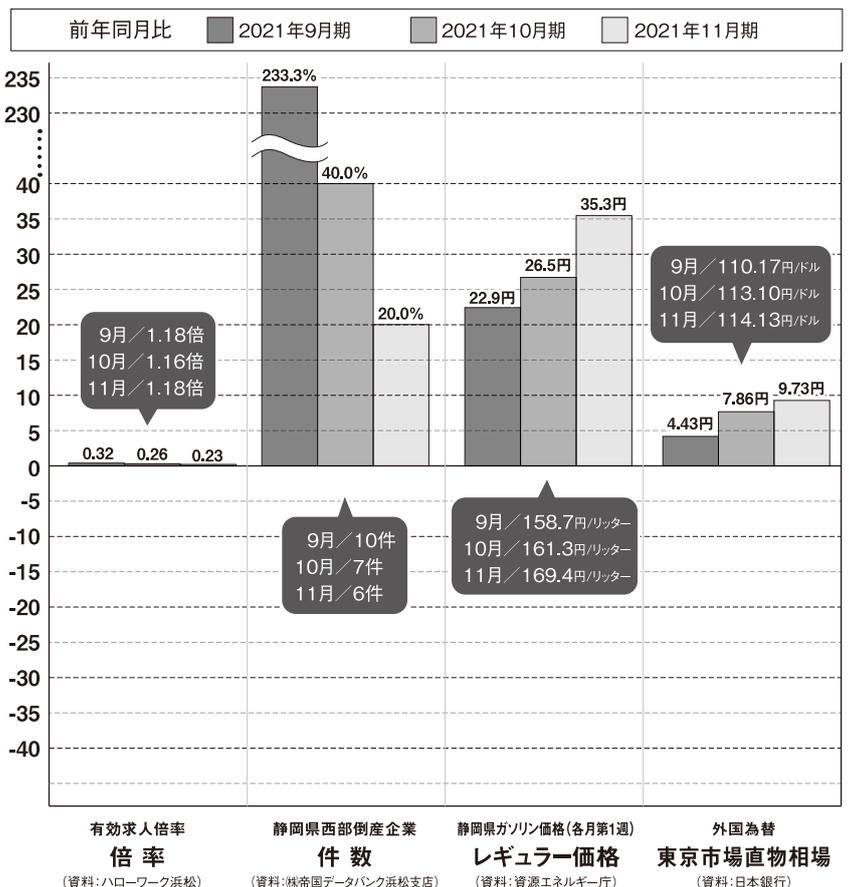


2021年11月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり169.4円となった。前年同月と比較すると35.3円上昇した。前月との比較では8.1円上昇した。ガソリン価格は7カ月連続で前月を上回っており、上昇に歯止めがかかっている。

外国為替



2021年11月の外国為替は1ドル113.87円、前年同月と比較すると9.47円の円安となった。2020年は100円台で推移していたが、2021年4月以降は米国の金利上昇もあり、112円プラスマイナス3円で推移している。



緊急事態宣言解除されるも、 小規模事業者は引き続き厳しい業況

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、
数値上は2四半期振りに改善したが、原材料価格が上昇しており、
小規模事業者は依然厳しい状況が続いている。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合から
マイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全 体				うち小規模事業者			
	調査数	業 況			調査数	業 況		
		前 期	今 期	見通し		前 期	今 期	見通し
全 体	626				255			
二輪車部品製造	47				19			
自動車部品製造	76				20			
機械部品製造	56				31			
楽器部品製造	21				13			
繊維製造	23				20			
卸売業	75				29			
小売業	60				26			
建設業	69				10			
不動産業	45				31			
飲食・宿泊・ レジャー等	22				「2021年10月～12月期中小企業景気動向調査」より 浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等の DI 値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。 経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 現状、受注量が確保できており、特に海外向けのバイク部品の量が増加している。(二輪車部品製造)
- 原材料・仕入価格の上昇により、利益が圧迫されている。(機械部品製造)
- 仕入コストの増加分を価格に転嫁できず、収益が圧迫されている状況である。(建設資材卸)
- 巣ごもり需要も一巡し、来店客数はピーク時よりは減少している。(生鮮食品小売)

天気予報図の見方

DI:景気動向指数



浜松地域の経済動向

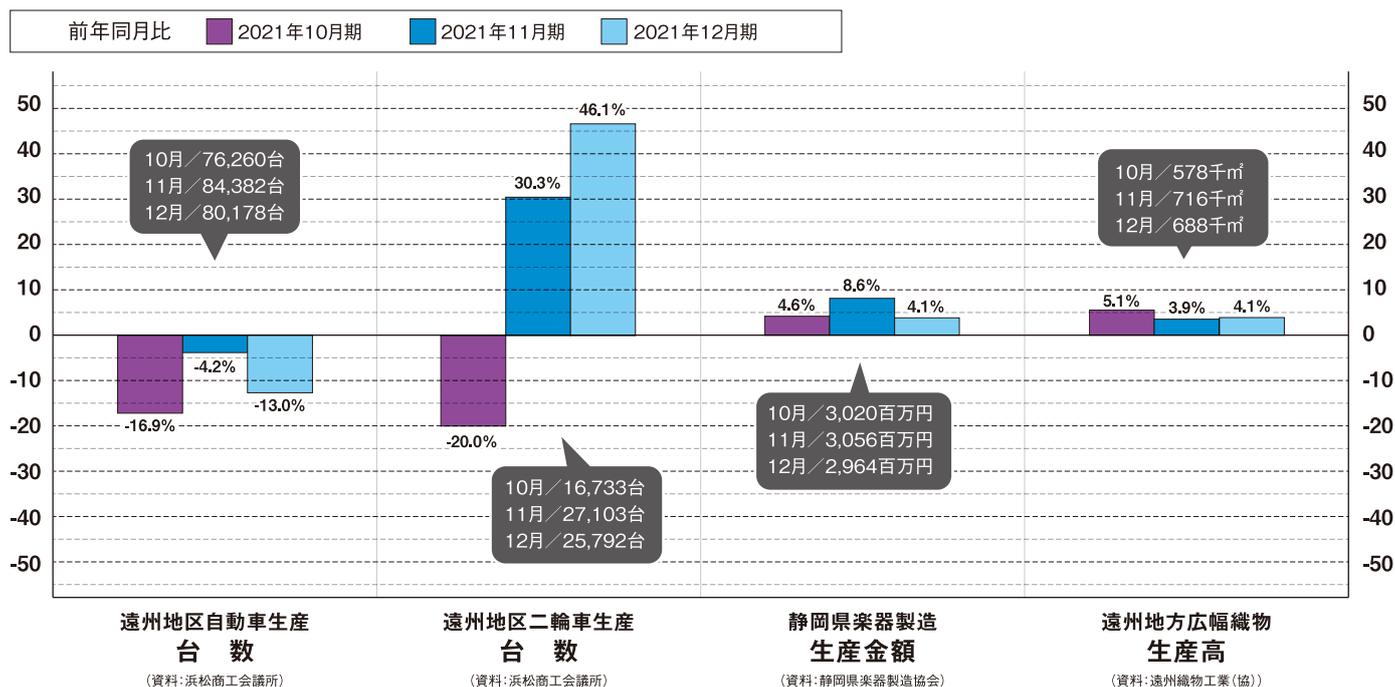
2021年12月を中心に

原材料、ガソリン価格が上昇しており、
企業活動および日常生活への影響が懸念される。



12月の自動車生産台数は前年同月および前月より減少したが、二輪車は、堅調に推移した。
楽器も堅調で生産金額は9カ月連続で前年同月を上回った。
期待された「今こそ!しずおか!!元気旅!!!」の効果は限定的で浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月を下回った。
浜松管内における有効求人倍率は1.19倍で、2カ月連続で、全国、静岡県を上回っており、雇用情勢の改善が見られる。
円安が続いており、ガソリン、原材料価格は上昇傾向となっている。企業活動、日常生活への影響が懸念される。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年12月における遠州地区の自動車生産台数は、半導体不足の影響もあり前年同月比13.0%減の8.0万台となった。軽自動車、小型四輪車はマイナスとなったが、普通自動車は3カ月連続プラスと堅調に推移している。国内向け、輸出とも前年同月を下回っており、国内向けは7カ月連続で前年同月を下回った。

二輪車



2021年12月における二輪車生産台数は前年同月比46.1%増の2.5万台となり、2カ月連続で、前年同月、前々年同月も上回った。国内向けは197.0%増加しほぼ倍増となった。輸出は37.1%の増加であった。排気量別では、50cc以下212.0%増、51cc~125cc以下21.9%増、126cc~250cc以下1.6%減、251cc以上48.3%増であった。二輪車の需要は堅調に推移している。

楽器



2021年12月における生産金額は前年同月比4.1%増の29.6億円となった。分野別に12月の生産金額を見てみると、ピアノ3.6%減、電子・電気ピアノ63.7%増、電子オルガン1.7%増、管楽器3.0%増となった。ピアノは11カ月ぶりに前年同月を下回ったが、ピアノ以外はすべての分野が前年同月を上回った。市場は回復傾向にあり、楽器生産金額は9カ月連続で前年同月を上回った。半導体不足と物流の混乱で電子楽器を中心に需要に供給が追いつかない状態となっている。

繊維



2021年12月の生産高は前年同月比4.1%増の688千㎡となった。6カ月連続で前年同月を上回った。12月はユニフォームなど一部素材に回復傾向が見えたが、主力となる、アパレル、百貨店向けファッション衣料は低迷した。需要が回復しないため原材料である綿糸価格の上昇分の生産品への価格転嫁に苦慮している。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年12月におけるタクシー乗車人員は前年同月比26.1%増の34.2万人となった。12月は年末が近づくと利用客が増加した。大規模な忘年会は無いが、少人数での忘年会がホテル、繁華街行われたため夜の利用客が増加した。特に週末は朝まで利用客がいた。しかし、出張での利用客は期待したほど増加しなかった。

観光

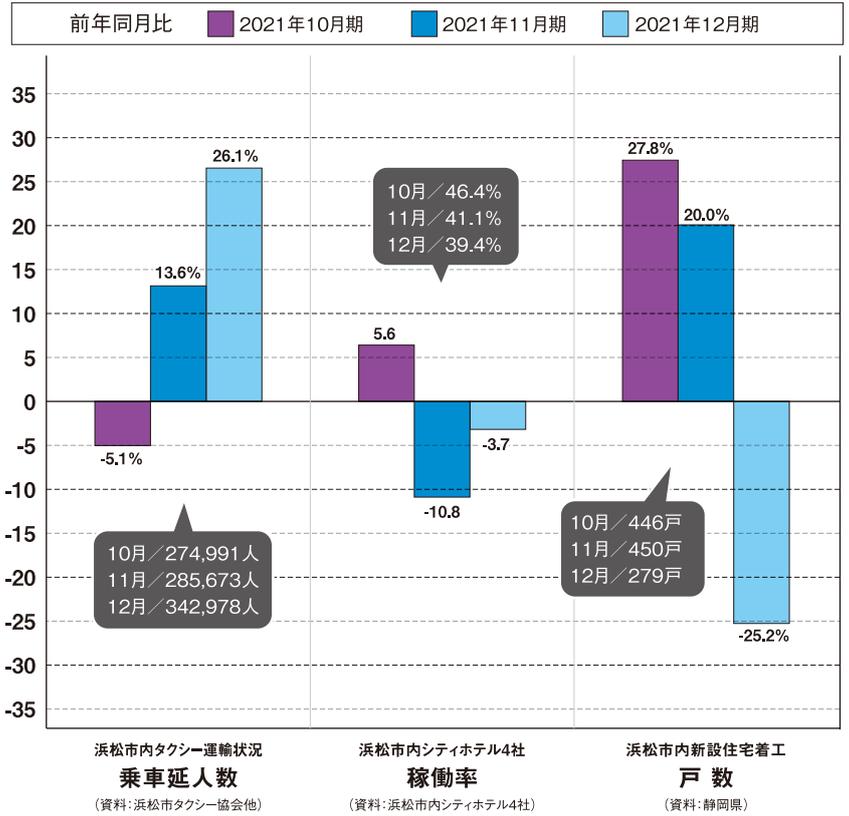


12月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月より3.7ポイント低い39.4%であった。前月との比較では1.7ポイント下回った。「今こそ!しずおか!!元気旅!!!」利用での個人客は増加したが、団体客は少なかった。ビジネスでの利用客は期待していたより少なく低調に推移した。

住宅着工



2021年12月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比25.2%減の279戸となった。持家は前年同月比18戸減、貸家は51戸減、分譲住宅は25戸減であった。前月との比較では171戸下回った。前月まで、浜松市内新設住宅着工件数は2カ月連続で前月を上回るなど堅調に推移していたが、12月は大幅に落ち込んだ。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を68戸下回る1,712戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年12月の有効求人倍率は1.19倍と6カ月連続で1倍を上回った。前月との比較では0.01ポイント、前年同月との比較では0.18ポイント上回った。全国(1.16)との比較では、0.03ポイント、静岡県(1.10)との比較では0.09ポイント上回った。浜松管内の有効求人倍率は上昇傾向にあり、2カ月連続で全国、静岡県を上回っている。雇用情勢の改善が見られる。

倒産企業



2021年12月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は8件、負債総額は10.1億円となった。倒産企業数は前年同月より1件増加、負債額は4.9億円増加した。前月からは2件増加した。負債額は前月より、7.9億円増加し、2021年2月以来の10億円以上となった。静岡県全体の倒産件数は19件で前年同月より2件増加した。

ガソリン価格



2021年12月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり167.9円となった。前年同月と比較すると34.4円上昇した。前月との比較では1.5円下降した。産油国の生産が増えない中、コロナ禍で自粛していた経済活動が徐々に再開され、需要が回復されてきたこともあり、ガソリン価格は高値が続いている。企業活動や家庭生活への影響が懸念される。

外国為替



2021年12月の外国為替は1ドル113.87円、前年同月と比較すると10.05円の円安となった。円安による輸入品価格の上昇により、企業活動、日常生活への影響が出始めている。米国の金利上昇が続いており、円安長期化が懸念される。

